

# ヒーリングマスタースクール

基礎編：1



本テキストの著作権は有限会社スタープレスに帰属します。

本テキストの内容のすべてまたはその一部について複製、転載、編集、販売、  
配布するなどの二次利用を固く禁じます。

# ヒーリングマスタースクール

## 基礎編 1

けいこヴァールハイト

## 目次

はじめに .....	5
第1章 魂の質を知る .....	11
第2章 地球での役割を認識する .....	21
第3章 魂側につくカルマと、その処理方法について .....	32
第4章 肉体側につくカルマ、先祖供養も含めたネガティブ意識の除去方法につ いて .....	42
第5章 呪術のベーシックな方程式 .....	52
第6章 カルマが果たす役割 .....	70
第7章 人生のプランの立て方 .....	79
第8章 人生をどのように自分で変えていくか .....	93
第9章 目に見えない意識体の基礎知識と利用方法 .....	110
第10章 ダークサイドの退け方について .....	139
あとがき .....	154

## はじめに

私は、長年ヒーラーという仕事を行ってききましたが、その中で痛感することがあります。それは、「目に見えない世界の正しい知識を、もっと大勢の人に伝えたい」、ということ。これにつきます。また同時に感じるのは、私と同じような職を目指す方や、魂の質がヒーラーそのもののような方に向けて、この世界の真実を紐解いていきたいということです。

なぜなら、この世の中には数多くのまやかしが存在します。「目に見えない世界」という、実際にそこにはあるけれど、みなが正しい理解をすることが難しい世界は、なおのこと。

誰かが「A」と言えば、それは「Aと信じるしかないのだ」と思わされる世界こそ取り扱いが難しく、慎重になるべきであり、どれほど慎重に扱おうとしても、それを真っ向から否定してくる人たちも多い。

そうであるならば私がやるしかない。そのような気持ちでこのヒーリングマスタースクールを開校するに至りました。

その昔の私は、目に見えない世界のことをそれほど理解してはいませんでした。「よくわからない」というところから始まって、また同時にどこか疑ってもしました。

「本当にそうなんだろうか……」

「なぜ、みんないろいろなことを言うのだろう。真実の一つのはずなのに。

その真実って、一体何なのだろう……」

と思ってもいました。

子どもの頃から元々敏感であり、いろいろなことがただ「わかる」という状態があって（当時はそれがサイキックだとは気づかなかった）、霊的な体験も数多くしていました。だから「信じない」という選択はありませんでしたが、成長するにつれ、現実には現実として把握しなくてはならない世界を生きざるを得なくなっていくたのです。

そして私は真実を知りたかったのです。目に見えなくとも確かにあると感じられる世界の真実を。まやかしはいらない。嘘を信じ込まされたくない。本当のことが知りたい。

ずっとそう思い続けてもきたのです。

だからこそ、この目に見えない世界に憧れて、常に惹きつけられていったものの、無防備にすべてを信じ込んだりはしませんでした。一つ一つ、慎重に体験を重ねながら、「自分」を通して検証し、確実にそうだと思えるようになるまで煮詰めて、そして身に着けていったのです。

そしてある時サイキックがはっきりと開き、高次元の存在の言葉が

聞き取れるようになりました。そこから私の知識や理解は飛躍的に上昇したのです。彼らは、目に見えない世界の真実を私が理解できるように、時に体験もさせながら正しく教えてくれるようになったからです。

私は、この目に見えない世界のことを、ものの本や、生きているだれかから聞いたのではなく、私のサポートガイドである彼らからほぼすべてを教わりました。その教えはまだ完全ではないでしょう。しかしながら、そろそろ大勢の方に伝えてもよいのではないかと思えるほど、知識とエビデンスは積み上がりました。

そこで、このヒーリングマスタースクールを開校することとなりました。

高次元の存在たちは言います。

「あなたもぜひ、体験を通して学んでほしい」と。

「この世の中にはまやかしが多い。特に、目に見えない分野においては、いまだたくさんの嘘八百が飛び交い、大勢の人たちがそれらを信じ込まされている。真実の一つではない。しかしながら、一つの真実めいたものは存在し、それはいわゆる、私たちが言うところの『エネルギーの法則』です。

エネルギーの法則は嘘をつかない。嘘をつかないというよりは、つけないのです。それは、確かにそうであるから。この世の中は、エネルギーの

法則によってしか動かされていない。そして、その真実を知った者から、この世の中で自由を獲得していく。誰にも押し負かされない自由を。

すべての人は平等です。エネルギーという名のもとに平等なのです。このエネルギーの法則を知り、それを使いこなすことができた者から、自由意思によって自分のために生きていく世界を獲得していく。それは、自由であるだけでなく、非常に多くのよろこびに彩られてもいるでしょう。

ですから、私たちはそのことも伝えていきたい。なぜならば、この世はまやかしではないから。好き勝手にだれかが決めた法則によって動かされていくのではなくて、ただ真実があるのです。それを、今現在のけいこさんの立場から言えば、それはやはり『ヒーリングマスタースクール』ということにもなっていくでしょう。なぜなら、私たちはエネルギーの法則に従ってみなさまのエネルギーの質を高めさせていただくにあたって、あなた方が本質に戻れば戻っていくほど、それはやはりけいこさんのようにヒーリングマスターへと還っていくでしょうから。

あなた方の本質は、愛である。しかしながら、愛である以上に、人間である。それもそのはず。あなた方は肉体をまとしてこの地球に生まれることを選択したから。その選択の果てに、あなた方の生命はここにあり、そしてこの生命は、地球という星においては綿々と連なっていく。

だからこそ、同じように人として生きることを選択しながら、生き惑っているような仲間たちにも、惑いを払しょくするように教え導いていただきたい。あなた方が本質に戻っていく道筋を知っていったように、知るだけでなく、きちんと戻っていくことができたように。そのあなたの体験を今度は編み上げて、けいこさんと私たちの体験のように、今度はあなたがだれかを導いて行ってほしいのです。

それが、我々がたっの願いでけいこさんに、このヒーリングマスタースクールを開校していただきたいと言った、その大きな理由になりますから。

あなたの活躍を、心待ちにしています。あなたが靈的に開かれていき、開かれていくだけでなく、目に見えない世界の教えを正しく身に着けていくことができるように。そして、あなたの血肉となっていくそれらを、次の方へと手渡して行ってほしい。それは、きっとよろこびに他なりませんから。

ぜひとも、私たちからの生の教えを、読み、また動画で見て、聴いていただきたいです。

このたびは、本ヒーリングマスタースクールにご興味を持っていただき、誠にありがとうございました」

それでは、さっそくページをめくっていきましょう。先に動画を

見ていただいてもかまいません。

このヒーリングマスタースクール『基礎編1』ではまず、目に見えない世界の基礎的な知識から紐解いていきます。しかしながら、その観点は「ヒーラーを目指す方」というものです。ヒーラーになりたい方、あるいはすでにヒーラーとしての道を歩み始めていらっしゃる方に向けて、まず知っておかなくてはならない目に見えない世界の真実を、動画とテキストを使ってお伝えしていきます。

目に見えない世界の情報は、実際多岐に渡ります。あらゆるすべてを詳細にお伝えしていくのはなかなか難しいものです。ですから、大前提となる、ヒーラーが最低限知っておくべき知識からご紹介していきます。

## 第1章 魂の質を知る

### 魂は肉体側の影響を受けながらこの地球を生きていく

人は、大まかにいうと「魂」と「肉体」から構成されます。

「魂」とは、今世請け負った肉体や肉体的カルマとは関係がない、永遠に変わらないもの。一方、「肉体」は今世限りのものであり、魂とは切り離されたところで存在します。

しかしながら、「魂」と「肉体」は呼応するように働いていますので、魂側で請け負ったカルマや問題、また今世のプランに関わる性質などは、肉体を通して解消されたり増大したりもします。

もう少し簡単な言い方をすると、魂自体の質は変わることがなくても、魂の資質は肉体の影響を受けながら作用しているので、肉体の影響を受けて広がりもすれば狭まりもするということです。

魂自体は永遠であり、その性質は基本的に大きく変わることはありません。

しかし、今世請け負い、その中に入り込んだ魂が動きにくくなるような肉体であれば、その方の人生は魂の表出がしにくくなり、生きづらくもなります。

また、肉体側から非常に大きな問題を起こされてしまうようなこともあり得ます。

一方、魂がもぐり込んだ肉体がすこぶるよければ（魂と肉体のマッチングがよければなおさら）、魂の資質は余すことなく発揮されるでしょう。

そのような方の人生は、順調そのものですし、魂が資質を余すことなく発揮できるということも含めて、魂側が請け負ったカルマの解消もスムーズであり、お役目を含む、よりよき魂側のプランの実行も軽やかであると言えます。

ここで言う「肉体」とは、すなわち「家系」ということでもあります。肉体は、自分の両親から引き継ぐもの。すなわち、肉体はイコール家系そのものでもあり、「肉体の問題」や「肉体的なカルマ」とは、シンプルに「先祖的な問題」「先祖から引き継がれるカルマ的要素」ということになります。

**魂 + 肉体 = 今世の人生**

**魂（不変） + 肉体（問題の多い家系） = 魂側の資質そのものが  
発揮されにくくなり、さまざまな問題も人生に起こりやすくなる。**

**魂（不変） + 肉体（問題が少なく良い要素が多い家系） = 魂側の良き資質が  
発揮されやすくなる。そこからカルマの解消やお役目も進む。**

今世、ご自身が抱える問題というものは、みなさまが家系のカルマを通じながら、魂側で自ら選んだ魂に紐づくカルマの解消に使われていきますので、どの家系に生まれようとも、それはご自身で選択してきたものだということも、付け加えさせていただきます。

### **人類の創造に関わった宇宙意識体**

ここでは、「魂」についてもう少し詳しくお話ししていきます。

あなたの魂はどこから来たのでしょうか。基本的にお役目ありきの崇高な魂を持つみなさまは宇宙由来の魂です。すなわち、宇宙のどこかからやってきました。

そのような方は、人生の最初の頃から孤独を感じやすかったり、自分が周囲の人と何か違うことを認識し、人間的なものの考え方になじまなかったりもします。また、人生の早い段階から目に見えない世界に興味を持つ傾向が

あります。

一方、地球由来の魂もあります。配分としては約 6 ～ 7 割が地球由来、残りの 3 ～ 4 割が宇宙由来となります。

地球由来の魂をお持ちの方の特徴としては、平凡を好むことが挙げられます。また、チャレンジ精神が旺盛でなく、非常に保守的です。肉体を通じて体験することにばかり興味を持ち、精神論や人生を向上させていくことにはほとんど興味を示しません。

彼らの魂は、なぜ、どのように生まれたのでしょうか。

答えは、ただ一つ。宇宙人たちに創造されたのです。

その昔、地球時間でいうところの 5 億年前か、それよりももっと昔、宇宙人たちが大挙してこの惑星に訪れたことがありました。当時の地球には生物らしい生物は見られませんでした。しかしながら、この惑星はとても美しく神秘的であり、さまざまな宇宙生命体たちはこの惑星にすっかり魅了されたのです。

そして考えたのが、一種の植民地化です。この惑星を足掛かりにしてさまざまなことを行おうという企みが、この時代にはありました。しかし、うまくいかなかったのです。

その理由の一つに、非常に多くの宇宙意識体たちによって取り合いになった

ことが挙げられます。当初の試みとしては、この場所を自分たちにとって住みやすいものにしようという考え方があり、多くの意識体たちが独自のセンスと技術を発揮し始めました。

そして植民地化するにあたり、彼らの奴隷として働いてくれるような、しっかりとした生命が 1 種類ないしは 5 種類ほど必要になったのです。つまり召使いです。

しかしながら、非常に多くの宇宙意識体たちによる取り合いになったため、彼らはそれぞれがそれぞれの観点で、地球に生命を作り始めました。それがあまりにも無秩序であり、また多種多様になりすぎたために、彼らはあきらめ、いったんそれらの生命をすべて消し去ることにしたのです。

同じ試みが再度行われましたが、結局そのときもうまくはいきませんでした。またしてもみなが好き勝手にそれらを行ったため、地球エリアに非常に大きな気候変動を引き起こし、せっかく創った生命も全滅してしまったのです。

その後、彼らはもっと慎重になりました。そして、宇宙意識体たちは一つの協定を結ぶことになったのです。宇宙ルールの適用です。また同時に、地球エリアに勝手に入り込むことや、ここにさまざまな廃棄物を投げ込むことも禁止されました。

そのようにして、この協定を守る存在だけが、この地球エリアに生命体を

生み出す事業に参画できることになったのです。

このような物語を読むと、不思議な気持ちになる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。「自分がそれをした」という、確かな記憶がよみがえってくるような方もいらっしゃるかもしれません。

そう、もしあなたの魂が宇宙由来であり、そして今このテキストを読んでいて不思議な何とも言えない気持ちになったのだとしたら、きっとあなたはそれを行ったに違いありません。すなわち、宇宙人たちの召使いとすべく、人類創造の瞬間に立ち会ったということです。

だからこそ、あなたの心の中には、消えない傷として「罪悪感」や「懺悔の気持ち」が芽生えざるを得なかったのです。なぜなら、自分たちの軽はずみな一つの失態によって、「人間」という生物ができてしまったのだから。そして、やがて一人歩きを始めた人間たちを放置してはいけなのではと、そうした思いが、みなさまが人類をサポートしたくてたまらない気持ちの発端となっているのです。

## あなたの魂はどこから来たのか

それがゆえに、この地球領域には地球で生まれた（宇宙人たちによって創造された）人々をサポートしたい宇宙人たちであふれかえるようになってきました。

そのため、今では、地球由来の魂と宇宙由来の魂が、前述の配分でこの地球上に存在するようになったのです。

これを読んでくださっているみなさまの、宇宙由来の魂の一つの過ちは、地球人類をサポートしたくてこの地球エリアに自ら飛び込んだものの、一度地球に入り込むとここから抜け出しにくくなる仕組みがあることを知らなかった、ということ。そのため、次の世もまた次の世も地球の人間として生まれる輪廻転生を繰り返すことになってしまったのです。

しかたなく、今度はみなさまの同胞ともいえる、同じ故郷の宇宙意識体たちがみなさまをサポートするために現れました。彼らは、みなさまと同じ間違いをするわけにはいかないとばかりに、人間としてこの地球に生まれることを選ばず、みなさまのそばにいて、みなさまがこの地球領域の闇に完全に飲み込まれていくことがないようにサポートを続けています。

宇宙系ガイドにサポートされている方には、このような背景があります。

話が少しだけそれでしたが、ここからは、あなたの魂がどこから来て、どこに向かおうとしているかについて、今のみなさまにご理解いただけるレベルでお話ししていきます。

まず、みなさまの魂は宇宙由来であると言いました。そしてその昔、みなさまが宇宙意識体であったとき、地球由来の魂と肉体の創造に関わった、と。その後、懺悔の気持ち払しょくすることができず、また、自分たちが生み出してしまったエゴまみれで、惑い、争ってばかりいる人間たちを放っておけなくなりました。

そのような人間たちを教え導きたい一心でこの地球エリアに飛び込んだものの、地球がどのような場所であるか知識がなさ過ぎたみなさまは、地球の輪廻の体系に取り込まれてしまい、延々と地球領域で生まれ変わりを繰り返すことになってしまったのです。

しかしながら、それ以前においては、あなたはどこにいたのでしょうか。その答えは実は千差万別です。

とある人はプレアデス星系を非常に好み、何度も何度も同じ場所にいました。とある人は、現在の地球人たちが知らない、名前が付けられていないような遠い星からまっすぐにこの地球にやってきました。その一方で、ありとあらゆる星を経由して、この地球に来た方もいます。

ということは、そもそもの「魂の質」とは、出自がどこであるかということよりも、どこの星でどのくらいの時を過ごしたのか、という影響力の方がより大きいのです。

さらに言えば、みなさまの魂の大元は、光そのものである源としての創造主から生まれました。生まれた、というよりは分かれたといった方が正しいでしょう。ですから、本当の意味合いにおける、「魂の故郷」はみな同じです。それは大海原でもなければ、どこかの辻向こうでもなく、今ここ、この瞬間にしかない、ただ一つの、唯一の光と同等であるということなのです。

難しい言い方はやめましょう。みなさまの魂の出自は、光そのものでもある創造主であり、その創造主こそ、あなた自身でもあるということです。

その光は、宇宙のはるか彼方にあるのではなく、あなたの心の内側にあります。あなたという小宇宙を通じて、その奥の奥にあなたの源がある。あなたはそこから生まれたのです。

しかしながら、あなたがあなたという宇宙を飛び出して、さまざまな星の領域を旅するうちに、あなたにはある一定の魂の方向性が生まれ、色付けがされるようになりました。それによって、ここで言うところの「魂の資質」という状態が表れるようになったのです。

これは概念的な話のようで、実は本当にそうなのです。できるだけ難しくしたくないと思い、平たい言葉で述べるようにしてはいますが、みなさまの源（すなわち創造主）がどこにあるかを、この 3.5 次元レベルの地球体系において説明をするのは非常に難しいのです。ですから、いったんここでは、このような説明とさせていただきます。

## 【まとめ】

**魂 = 不変**

**宇宙由来のすべての魂は、もともとは光そのものであり、性質や方向性などはなかった。しかし、宇宙エリアで様々な転生を繰り返すうち、一つの性質というものが生まれた。その性質は、地球エリアにいる間はほぼ変わることがない。**

## 第 2 章 地球での役割を認識する

### すべての人に役割があるわけではない

この章でお伝えしていきたい点は、下記 2 点です。

1. あなたに与えられている役割は何か
2. その役割を行うにあたってスキルを身に着けるために必要なこと

まず、1からお伝えしていきます。

実は、この地球に生まれてきているすべての方に役割や役目があるわけではありません。とある方は、今世はカルマの解消のためだけに生まれ変わりを選んでいるかもしれません。一方で、役割があることはあるものの、それはお役目とは程遠い、だれもやりたがらない、ババを引かされるような出来事を、だれかがしなくてはいけないから引き受けてきたというような方もいらっしゃいます。

このような例は特殊パターンではありますが、実際にあります。その上で申し上げるならば、通常、地球由来の魂を持っている方には、役目が

降ろされないかという点、そんなことはありません。たとえば宇宙から降ろされる情報を受け止め、地球上で必要とされる有益なツールを現実化していくということがあります。

また、だれもが嫌がるような役割（たとえば、戦車にひき殺されるとか、盗賊に身ぐるみはがされるとか）を、あえて引き受けることで、自身の巨大なカルマを解消しようと目論んで生まれてくる方もいます。

このような例は、実は数が少ないわけではありません。なぜなら、人は一度でも地球を生きると、たいがいはカルマの一つや二つを持ち越すことになるからです。

一度に大勢の人を死に追いやってしまったとか、自分のせいでコミュニティごとダメにしてしまい、それによって他者のプランを大幅に狂わせてしまったなど、一度の人生で莫大な量のカルマを背負うこととなり、とにかく急いで解消しなくてはならない、という場合、先ほど述べたような手段で、巨大なカルマの解消を目指して地球に生まれ変わる、ということも起きます。

この、カルマの話については、次の章でより詳しくお話ししていきます。

実際、地球由来の魂よりも、宇宙由来の魂を持つ人の方が、役割のレベルも大きく、また役目を担ってくる可能性も格段に高いです。すなわち、みなさまはお役目を持ってこの地球に現れたと考えてまず間違いないでしょう。

なぜなら宇宙由来の魂を持つ人の多くが、そもそも、地球人類をサポートすると決めてこの地球領域に入ってきているからです。この地球で何度転生を重ねていたとしても、当初の目的は失われないのです。

とはいえ、そのような役割のほとんどは、他者やその他大勢の人への貢献と捉えられていますが、必ずしもそうではありません。人によっては、だれかのカルマの果たしをサポートするために、あえてネガティブな役割を引き受けてくることもあります。

たとえば大勢の人を覚醒させるために、だれもが目を疑うようなショッキングな死を請け負ってくるとか、人との闘争をもって大勢の人のカルマがお掃除されていくことがあるとき、その闘争を作る原因となる行動をとる、などがそれにあたります。

しかし、このような役割を与えられてくる方はごくわずかです。全体の1割にも満たないでしょう。

通常、特に宇宙由来の魂を持つ方の場合、大勢の人の目を覚まさせる、つまり覚醒させるためのお役目が多くなります。また同時に、それらのお役目の中には、

ホワイトサイドの仲間たちを守るために、激務を承知で引き受けてくるような方もいらっしゃいます。

そのようなお役目の場合は、「自分」という素材を最大限に生かし、その人にしかできないようなことを行うというパターンが多いです。たとえば、経営者、タレント、各種専門家、教師や先生、パネリストのような役割です。

自分を中心に据えて必要な情報やデータ、言葉を発信し、多くの人に先進的な意識を与えるということをしていきます。

しかし、これだけではありません。自分にしかできない、パーツとしての役目もあります。それはたとえば、交響楽団の団員の一人のように、それぞれが自分の持ち分を忠実にこなすことで一つの大きな出来事となり、それによって社会全体が動いていく……というようなパターンです。

この場合は、他者との協業が大事になりますので、このようなタイプの方は大事業を成すような人の右腕となったりもします。また、サークルやスポーツ、文化活動を通じて一つの大きなことを大勢で成し遂げていく方もいます。

その一方で、役割はあっても自分に役割があることに気づかないまま過ごしてしまい、役目をし損ねて人生を終わらせる方が多いことも事実です。そのような場合は、同じ役目と目的を持つ、似たようなパターンの人生を選ばされて生まれ変わり、再び地球に戻ってくることが多いです。

## お役目をどのように認識するか

ここまでは、さまざまな、お役目や役割のパターンについてお話ししてきました。ここからは、あなた自身のお役目をどのように認識していくべきか、という話に移っていきます。前述の「1」の話です。

あなたに与えられている役割とは、そしてそれを知る方法とは何でしょうか。

まず、役目や役割はその方の「好き」を通じてこの世に表出するということが挙げられます。

「お役目」「役割」と聞くと、たいていの方は「大変そうだ」「重そうだ」と思うでしょう。それは重石でしかなく、大変なことを背負い、眉間にしわを寄せながらそれを必死にやり通すのだらう、と。

しかし、そうではないのです。役目や役割は、その人にとって非常に好ましく、大切に、「それだけをやっていたい」というくらい好きなことです。

逆に言えば、それくらい好きにならなければ、それを終生やり通すことができません。だからこそ、「それが大好き」という感覚を持って生まれてくるのです。

私の場合、目に見えない世界のことには興味がないと言ってもいいほどスピリチュアルな世界観が好きです。また、文章を書くこと、自分が

見聞きしたことを伝えることに非常に快感を覚えますし、それによってだれかをサポートすることができるとき、魂が震えるほどのよろこびを感じるのです。

すなわち、生粋のヒーラー体質であると同時に、伝達者としての魂を持って生まれてきたということ。だからこそ、それが私の地球での役割となっているのです。

あなたの役割とは、シンプルにいうとそれはあなたの「好きなこと」。情熱を燃やして夢中になり、寝食も忘れてしまうほどのめり込むことができるものが、あなたのお役目だといえるのです。

しかしながら、これまでの地球は左脳的な思考や教えが幅を利かせる世界でした。だからこそ、本来の望みやよろこびがわからない、という方もいらっしゃいます。そのため、ご自身に役目があることも、その役目が何であるかもわからない方も多いのです。

そのような方は、やはりエネルギーワーク等を通じてネガティブエネルギーを除去し、本来の自分を取り戻していくという作業が必須です。

**あなたの好きなものは何でしょうか？**

**それこそがあなたのお役目です。**

## 役目をやり切るためには、能力に磨きをかけることが必要

ここからは、前述した「2」の話に入っていきます。

お役目や役割とは、魂がこの世に生まれ変わりを果たすときに、一種の契約として自分の内側に取り込んでくるものです。そして、それは「好き」を通じて表出すると同時に、通常はそれを遂行することができる能力も持ち越してきます。

多くの場合、その能力は過去世で行っていたことに起因し、魂側に由来することが多いですが、必ずそうであるとも限りません。肉体側の好影響が必要である場合、そのような能力を持つ先祖が多くいた有力家系を選んで生まれてくる、というケースも多くあります。

つまりお役目のある方は、「好きなこと」と、それを行う「情熱」、そして実際にそれを行うことができる「能力」を秘めて生まれてくるのです。

といっても、何の訓練もなしにそれらを使いこなせることはほとんどありません。たいていは、人間的にその能力に磨きをかける「努力」がそこに加わっていきます。

たとえば、私の今世の地球上での役割が「伝達者」であり、「スピリチュアルリーダー」であるとしたら、それを理解し、使いこなせるようになるまでに、

私は数十年もの時間を要しました。

何もせずに今のサイキックが開花したわけではなく、やはり大勢の方を導くにあたってスキルの向上は必要でした。地球上で仕事として確立するにあたって人間的な努力は必要であったということです。

以前の私の職業はライター・エディターであり、その職業を10年以上続けた結果、文章を書くという能力を得ました。もともと、潜在的に文章力は得て生まれてきていましたが、実際に、自在に文章が書きこなせるようになるまでには、2年も3年もかかり、その間、山ほどの文章を書かされて、うんざりするほどダメ出しもされてきました。

逆に言えば、だからこそ人間として身に着けた文章のスキルは本物であり、取り去られることのない私の才能と武器の一つとなっています。

一方、サイキック能力ですが、やはりこれも潜在的に持たされて生まれてきており、子どもの頃から、ただ「わかる」という感覚がありました。だれが何を考えていて、この次に何が起きるのがわかっていたのです。

しかしながら、その「わかる」という感覚だけでは、それがサイキックだと気づきもしなかったし、何らかの形で使いこなすためには、自分の意思でコントロールすることを含めて、さまざまな方法で洗練された脳力へと磨きをかけていく必要がありました。

また、サイキック能力を使いこなし、スピリチュアリストとして活躍していくためには、まず自分自身が人間としての人生をしっかりと生きる必要がありました。

もし、人生の前半生でサイキックを使いこなし、すべての望みを叶えながら悠々自適に生きていたとしたら、人の痛みに寄り添うどころか、社会的なルールやマナー、常識を身に着けることさえなかったかもしれません。

そうであるとき、私のカウンセリングは表面的なものになっていてでしょうし、的外れで、気持ちを逆撫するような物言いやアドバイスになっていたかもしれません。

人として真面目に生き、失敗を何度も重ねて、困難を山ほど体験してこそ、一人の人間として生きたアドバイスや導きができるようになるものです。だからこそ、人生の前半生においては、サイキック能力は一時的に埋もれさせられていて、しかるべき時が来るまで完全に開くことがなかったのです。

そして今は、そこそこ開いています。それは、人生の半ばで導かれる出来事が起き、その出来事に対処していくうちに自然とサイキックは開花し、気づくと職業としてそれなりの立場が確立されていました。

しかしながら、その導かれる体験にしても、偶然に起きることを漫然と

受け止めて受け身になっていたわけではなく、ある時から能動的に、積極的に能力を掘り起こしにかかっています。

そして、能力を磨き上げ、さらに使い勝手を良くするために、左脳的にしっかりと考え、収入という意味合いの仕事と両立させながらゆっくりと、しかしながら一步一步確実に歩んだ結果、今私はここにいます。

私のパターンは、実はそこまで特殊というわけではないでしょう。なぜなら、やはりこれを読んでくださっているみなさまは、ヒーラーとしてのお役目があるはずです。そして、だからこそ、以前の私のように、いまだ半分眠ったままの状態のサイキックセンサーをより開花させ、使いこなせるようになりたいとお考えなのでしょうから。

ここでお話ししたかったことをまとめていきます。

1. お役目や役割とは、「好き」を通じて表出する
2. 通常は、その「好き」を形にできるだけの能力を持ち合わせて生まれてくる
3. 一つのパターンとして、その能力は、過去世で何回も行ってきたことから魂側に資質として備わっている

4. もう一つのパターンとして、その役割をやり切るために、そのような能力を多く持つ先祖がいる家系に生まれ変わりを果たし、肉体側からその能力を身に着けて生まれてくる
5. どちらのパターンにせよ、その能力は、ただ持ち合わせているだけでは不十分であり、使いこなせるようになるためには人間的な努力と選択を重ね、磨きをかけていくことが必要である

この5つのことをお伝えして、この章を終えていきます。

#### **【まとめ】**

**役割はすべての人にあるわけではない。**

**しかしながら、宇宙由来の魂を持つ多くの方には、人々の意識を目覚めさせ、**

**制限を取り去り、周波数を上げる役割が与えられていることが多い。**

**その役割を遂行するためには、人間的に正しい行動を通じて能力に磨きをかけていくことが必須。**

## 第3章 魂側につくカルマと、その処理方法について

**カルマとは「宇宙の流れを阻害する行為」全般を指す**

ここでは、カルマについてお話ししていきます。

地球に生きる人には、地球ルールというものが存在し、その一つが「カルマ」です。

カルマとはそもそも何なのでしょう。それは、人の人生プランや生き様を阻害していくようなもの、すなわち、地球の流れを乱すような行為そのもの、ことを指す場合もあれば、だからこそ生じてしまったような、さらなる他者の混乱そのものをさす場合もあります。

シンプルにいうと「宇宙の流れを阻害する行為」がカルマにあたります。

この章では、下記のタイプのカルマについて扱っていきます。なぜなら、カルマの形態は多岐に渡り、今の時代に生きる私たちでは理解できないようなカルマもそこには含まれるからです。

ですからここでは、一般的に理解しやすいカルマに加えて、カルマ的要素というものも取り上げながら、「**今を生きている私たちが苦しめられがちな要素**」に特化してお話ししていきます。

それはやはり、このテキストがヒーラーを目指す方に向けて書かれているものであり、人の苦しみを少しでも軽減させる作業がヒーラーの役割の一つであるからです。

であるからこそ、**人の苦しみがどこから生じているのか**、という根本的原因を知っておく必要があるのです。そのような観点から話を進めていきます。

### **カルマがさらなるカルマを生み出し複雑性を帯びていく**

ここで扱っていくカルマ、あるいはカルマ的要素は下記の 2 点です。補足的にさらに何点か付け加えていきます。

1. 人の生死に関わるようなもの
2. 人の人生を台無しにしてしまう行為

付け加えて、下記の 4 点についても扱っていきます。ここからは、それ自体がカルマというよりも、カルマ的要素となります。

3. 人の人生を台無しにしてしまったせいで生じる後悔や懺悔の意識

4. 精神性を高めようと必死になり過ぎたために、時空を曲げるタイプのご祈祷を繰り返したこと

5. 人に対する間違っただサポートを行い、その結果として他者のカルマを肩代わりしてしまったこと

6. これらを含む、何らかの問題を引き起こしたせいで、自分で自分の性質を閉じるように、あえて自分で自分の人生をダメにしながらか生きること  
そのもの

すべてを一つ一つ説明するのではなく、これらをまとめてお話ししていきます。

さまざまなカルマがある中で、私たちがもっとも持つべきではないカルマとは、人の生死に関わることです。

人の生死に関わるカルマとは何でしょうか。端的に言うと、人を殺すことです。そこには意図的な殺人はもちろん、故意ではない、事故による殺人も含まれています。要するに「誰かの人生プランを、その人が全うできないようにしてしまったこと」で生じるカルマです。

このカルマの清算はなかなか大変です。というのも、次の世では、だれかの

人生を肩代わりするプランを選ばされるからです。

自分が殺してしまった相手が人生プランを全うできなかった場合、その人が次の世で行う予定だったこともできなくなってしまう可能性があります。そのような場合は、相手が次の世でプランを全うできるようにサポートをすることで、代償を支払わされるということもあります。

たとえば、親子として生まれ変わる選択をさせられることも、その一つです。今世で自分の子として生まれてきた存在は、実は自分が一つ前の過去世で殺した相手だった、ということは、そう多くはないにせよ、実はめずらしい話ではありません。

そうであるとき、家族関係が当初よりややこしく、非常に複雑になることも想像に難くないでしょう。

たとえば兄と妹の二人の子を持つ父親がいるとします。その父親が、実は過去世で兄の方を殺していたとしましょう。するとこの父親には、罪悪感から兄だけを溺愛するか、もしくは真逆で、兄だけはどうしても愛せないという偏った状態が表れやすくなります。

これによって複雑性はさらに増していきます。愛されすぎた兄は、幼少期の親の過干渉によって、大人になってからも、自ら人生をうまくいかせないための行動をしてしまうこともあります。

一方、溺愛される兄を見ながら育ったその妹は「親から愛されなかった」という記憶を持って、その後の人生でカルマを生じさせるような行為に出ることもあり得ます。

最悪なケースであり、また、もっとも起こり得るパターンとしては、殺し殺された者同士が家族になったことで、今世でその逆のことを行ってしまう、ということです。この場合は、兄が父親を殺すことです。

このような場合、カルマを清算するはずがカルマを上積みすることになり、清算がさらに難しくなる上、「必ず清算しなければ……」という強い思いから、より複雑な背景の元、再び家族として生まれ変わることもあり得るのです。

実際、一つのカルマが単独で存在することはまれで、ほとんどの場合は、さまざまなカルマが複雑に積み重なっていったって、一つのカルマが次のカルマやカルマ的要素を生み出していくこととなります。その複雑性によって人は、いわゆる「ブロック」と呼ばれる、ネガティブ意識を持ち越してこの世に生まれてくることになるのです。

## 人の魂の本質を、カルマ的要素を排して見定める

さて、カルマについてここまで書きましたが、カルマについての詳細は「第6章 カルマが果たす役割」でお話ししていきたいと思います。

ここからは、そのような複雑なカルマ、あるいはカルマ的要素をどのように捉え、どのように処理していくべきかという話に入っていきます。

私たちは通常、目の前に表れる現象に対して色付けをしながら生活をしています。「色付け」とは、すなわち、「あの人はひどい人だ」とか、「話がさっぱり通じない」といった、人や物事、状況への評価です。

しかしながら、なぜその人がそうなってしまったのかには、背景があります。つまり、カルマ、あるいはカルマ的要素によってそうなっているのです。

ですから、ヒーラーを目指すみなさまは、目の前に現れる人（クライアントやそれ以外の方）に対して、目の前で起きている表面的な現象だけを見てその方を評価することはもっとも避けなければなりません。

さらに言えば、私たちには、独自に持たされる「信念体系」というものがあり、これは、基本的には魂側に持たされるブロックを下敷きとすることがほとんどです。

魂側に持たされるブロックとは、ここで取り扱っている、過去世で生じた

カルマと、そのカルマがあったからこそ繰り返されていくカルマ的要素、あるいはカルマの上積みということになり、これがいわゆるネガティブエネルギーとして魂の本質を狂わせていくのです。

この、信念体系を生じさせるに値するカルマやカルマ的要素に加えて、次の章で扱う「肉体側のカルマ」というものがあります。詳しくは次章で述べますが、これはいわゆる「先祖的悪しき影響力」です。

話を戻していきましょう。結果として、私たちは、自分の人生をうまくいかせないように仕組まれた（自分で仕組んできたともいう）魂側のカルマと肉体側のカルマという、二つのカルマやカルマ的要素によって、人生を阻まれているのです。

ですから、目の前に現れたクライアントさんがどれほど偏屈で、失礼で、ひどい人に見えたとしても、実際には、こうしたカルマが作用した結果として今世ではそのような人になってしまっている、あるいはそのように見えてしまっている、ということなのです。

すべての人には、人生がうまくいかない要因としてのカルマやカルマ的要素があります。ヒーラーであるならば、その人に色付けをせず、魂の本質を見極める必要性があるのです。

## カルマは目に見えないとある領域にエネルギーとして存在する

ところで、あなたはどのようなヒーラーになりたいとお考えでしょうか。このテキストを読んでくださっている方の中には「ヒーラー」といっても、私のような、サイキックヒーラーそのものになることがお役目ではない方もいらっしゃるでしょう。一口にヒーラーといっても、ヒーリングのみをする方、チャネリングをしてメッセージを伝える方、さまざまなツールや占いの要素を取り入れて行っていく方もいらっしゃると思いますので、そのような方にも向けて、ソフトなタイプのネガティブブロック（ここで扱うブロックとは魂側のカルマに特化していきます）のリリース法についてお伝えしていきます。

シンプルにいうと、瞑想法を使って行います。自身の内側の奥深くに入っていく、フォーカスレベルをずらしながら、その方の、そのカルマが生じた場所まで戻っていきます。

カルマが生じた場所というのは多岐に渡っており、世界中のどこである可能性もあります。自分の肉体が日本にあるのに、中世フランスで生じたカルマをどの程度リリースできるのだろうか、と心配な方もいらっしゃるかもしれませんが、難しく考える必要はありません。

すべては「ここではないどこか次元の違う領域」に、エネルギーとして格納されています。その領域にアクセスさえすれば、時間も場所も関係ありません。その領域にあるエネルギーをただ出していきさえすればよいのです。

リリースするにあたって、ご自身のイメージ力を使います。そのエネルギーは単にもやのように見えるとか、黒々として見えるのではなく、実際にはある一定のストーリーを持って見えてくるものがほとんどです。ですから、そのストーリーを追いながら、そのエネルギーが指し示すものを理解していきます。そして、イメージの中でそのストーリーを書き換えていくことによって、ネガティブエネルギーをリリースすることができるのです。

ヒーラーだからといって他者のカルマを肩代わりする必要はありませんので、ご自身に危険がおよばないよう慎重に行ってください。詳しい手法については、今後展開していくヒーリングマスタースクールの応用編でお伝えする予定です。

## **【まとめ】**

**現代を生きる人の多くが、過去世のカルマによって、同じ場所をぐるぐると回るようになってしまっている。**

**一つの人生で生じたカルマを解消すべく生まれても、その人生でさらにカルマ**

を積み重ねてしまうことは良くあることだから。

ヒーラーは、その人の魂の本質を見定めるべきであり、積み重なったカルマに汚されて表出してくる、「汚れにくるまれた本質」に惑わされるべきではない。

## 第 4 章 肉体側につくカルマ、先祖供養も含めたネガティブ意識の除去方法について

### 私たちに備わる肉体的な問題の多くは先祖から引き継ぐもの

ここで話ししていくのは、肉体側につくカルマ、あるいはカルマ的要素についてです。

肉体側につくカルマとは、端的に言って、私たちの先祖が行ってきたさまざまな悪しき体験です。先祖が、現在の私たちに内的意識から語り掛けてくるようなエネルギー的な影響力もあれば、その肉体が強いのか弱いのか、見た目がよいのか悪いのかなど、いわゆる「遺伝子」とされる領域も含みます。

しかしながら、実際には「遺伝子だ」「遺伝的影響だ」と捉えられているものの中にも、先祖がしでかした何らかの問題によってエネルギー的に持ち越されているものも多いのです。

ですから、ここではそれらをすべてまとめて扱っていきます。

先祖がかつてしでかした何らかの問題を、なぜ子孫が肩代わりしなくてはならないのか、とお思いの方も多いでしょう。実際には、「肩代わりしなくては

ならない」のではなく、肉体という目に見えるものでつながっているために、したくなくても肩代わりさせられてしまう、と理解していただく方が正しいです。

私たちの肉体は、両親の卵子と精子から生まれます。母親の胎内で成長する過程においては、母親の血液を通して栄養素を取り込み、私たちの肉体は大きくなっていきます。

そうである以上、肉体、という組織を通じて、その中に脈々と、先祖の息吹が（ここではあえて DNA という言い方をしません）流れ込むのがおわかりでしょう。

ですから、私たちが今世を地球で過ごすにあたっては、肉体側に生じる先祖的影響力は無視できないのです。

### **強い恨みつらみの念が子孫に問題をおよぼす**

ここでは、この先祖的影響力の中で、現在のみなさまを混乱させるものについて取り上げていきます。前章の「魂側につくカルマ」で取り上げたのと同じように、やはり肉体側に生じる先祖的カルマも、魂側ほど多くないにせよ

多岐に渡ります。ですから、代表的なものを取り上げていきます。

1. 肉体側に欠損（問題）として表れるもの
2. 肉体は損なわれず、精神的な問題として表れるもの
3. 肉体、精神ではなく、性格や性質として表れるもの

大きく分けて、この3つです。ここでは、それぞれについて解説していきます。

まず、「1」について。

肉体的に問題として表れるとは、つまり病気です。病気のカルマは、実は魂側から来るものは非常に少なく、そのほとんどが肉体側で生じた先祖的カルマ要素の果てに起こるものです。

たとえば、生まれつきの障害（発達障害等を含む）がその代表です。また、四肢をはじめとする肉体の一部が欠損していたり、何らかの機能障害がある場合もそれにあたります。

ここで、「2」についても併せてお話ししていきます。

この場合、「1」と少しだけ違うのは、生まれつきではないという点です。精神的な問題とは、ひどい鬱症状や統合失調症のようなものを指しますが、実際には強迫観念症やパニック障害のようなものも含まれます。

いわゆる、人が健全で健康的な生活を送ることができないような、精神的な病であり、それらが生まれつきでなく後天的に備わったように見せかけられていくもののことを言います。

この「1」と「2」は、成り立ちは違いますが、原因はほぼ同じです。実際には、直接的な理由は多くありますが、代表的なものとして以下が挙げられます。

一つは、他家や他者に対して何らかの大きな問題を起こした先祖が一定数以上いるため、他家からの恨みを買って、そのひどい怨念がエネルギー的な影響として子孫の肉体や精神に問題を生じさせるもの。

もう一つは、自らの命を絶った先祖が一定数いて、その先祖が苦しすぎて子孫につながるエネルギーコードを握りしめすぎたせいで、より良い栄養や要素が子孫にいきわたらなくなり、結果としてとある部分だけ肉体的、精神的な不具合として表れてきてしまうもの。

そして、「2」の場合は特に、幼年期に不思議なクセや偏った思いグセがその子どもに表れやすくなります。それがゆえに、両親が矯正しようと厳しいしつけをしたり、「問題である」として扱いすぎた結果、その子の精神をさらに歪ませるような教育をしてしまうことがあります。

それによって子どもの頃から精神疾患のような特徴が表れ始めることも

ありますし、中学生、高校生になって孤独感を抱え、20歳そこそこで統合失調症や双極性障害のような深刻な心の病となり、長期の入院生活を余儀なくされてしまう方もいるのです。

これらは、前述の通り、先祖や先祖を恨んだ他者からの強いエネルギーアタックを受けてしまったことにより、子孫に肉体的、精神的な問題が生じてしまうという、いわゆる霊障です。

「他家や他者から恨みを買った」という理由の場合、その者の恨みの念がどれほどひどく強力なのか、ということです。

実際、ひどい恨みの念は、今世受けるだけでも、命を取られかねないほど強いサイキックアタックになることはよくあります。それが、世代を超えて、まったく関係のない子孫にまでおよぶということは、その恨みの念がどれほど強力かおわかりでしょうし、だからこそ浄化もしづらいのです。

どのように浄化していくべきか、詳細は今後展開するヒーリングマスタースクールの応用編で解説しますが、簡単に言えば、先祖供養です。先祖からもたらされるネガティブなパターンのほとんどは先祖供養を通じてでしか浄化することができないということも補足的にお伝えしておきます。

自害した先祖が多くいる家系においても、浄化方法は同じです。ただ

この場合は、他者や他家から発せられる強い恨みの念ではないため、苦しんでいる未浄化霊としての先祖をあの世に引き上げてあげればよいので、他者や他家からの恨みをお掃除するよりも難しくないことは事実です。

### **先祖からの悪影響を私たちは肩代わりさせられている**

「3」の、性格や性質として表れる先祖的カルマのほとんどは、「気難しい」という一言で表されるような、他者から見ると理解不能な不愉快極まりない性格として表出します。

たとえば極端に怒りっぽい、しかも暴力的ですらあるという場合、家庭内暴力や、傷害事件に発展することもあり得ます。また、ケンカっ早く、いつも人と争いばかり起こしてしまうため、社会的地位を構築しにくく、職が定まりません。それゆえ金銭的に苦しむなど、負の連鎖を起こす場合もあります。

もちろん、気難しい、で表される性質は、怒りばかりではありません。人を不愉快にさせる言動の最たるものとしては他者の感情やその場の雰囲気や極端に無視することが挙げられますが、それ以外にも常人には理解不能な

悪癖を持っていたり、人とのコミュニケーションが極端に下手であったりと、  
表出のしかたはさまざまです。

また、ある特定の事柄だけが非常に不得意であり、それによって周囲に迷惑を  
かけてばかりいるといったことも挙げられます。

補足的に、「3」に至る先祖的カルマの最たるものとしては、情念とでも  
いうべき、誰かの強い念であり、それが作用して子孫のとある性格や性質として  
表れてくる場合がほとんどです。その情念がどこに作用するかによって、  
表出する特徴や特質は変わってきます。

その情念が、並々ならぬ出世欲として表れてくる場合は、他者を  
押しのけてでも出世しようと意気込み、その結果、嘘をついたり詐欺まがいの  
ことをしたり、ということも起こり得ます。

その情念が、恋愛や特定の相手に表れてくる場合は、恋愛において問題を  
頻繁に起こしたりもしますし、お金であるならば、ひどい浪費や借金問題を  
常に抱える、詐欺まがいのことをしても大金を稼ぎ、しかも守銭奴のようにな  
って他者と正しい関係性すら築けなくなる、ということも起こり得ます。

結局、ここで扱うべき「肉体側に生じるカルマ」としての、先祖的な問題は、  
子孫が非常に不利益を被るような大小様々な問題を作るに至る、という  
ことです。

そしてそれは、大なり小なり、これを読んでくださっているみなさまにも、問題として降りかかってくるのだということでもあるのです。

ここでお話しした先祖的カルマの要因は、そのほとんどが、前述のとおり、先祖の「情念」によって引き起こされます。

その昔先祖が手打ちにされた、謀反によって落とされた、あるいは思いを寄せた人との結婚が認められず心中したなど、「想いを遂げられなかった先祖」の、強い強い念が何百年たっても消えずに残り、子孫に影響していくのです。

しかしこれらもすべて、先祖供養を通じて解消していくことは可能です。

## **結局、先祖的カルマも私たちが引き受けて生まれてきた**

本章を終えていくにあたり、個々人におよぶ先祖的カルマの要素とその重さについて考察を深めていきたいと思います。

人はなぜ、生まれ変わりを選択させられるのでしょうか。ほとんどの場合、それは、カルマを解消する必要があるからです。ここでいう「カルマ」は、肉体側だけではなく、魂側のカルマも含みます。

肉体側につくカルマは、先祖のし損ねに対し、子孫がその責任を取らされるパターンです。魂側のカルマは、自身の過去世でのし損ねを、自分で解消していくことです。

つまり、魂側のカルマの清算は、自身で行わなくてはなりません。自分で原因をつくったのですから、自分で解消するほかないのです。

しかしながら、肉体側のカルマは、みなさまが原因で生じたものではありません。まったくの他人ではないとはいえ、誰かのかつてのし損ねを、みなさまが人生をかけて償っていく必要があるのです。

魂側のカルマを解消しなくてはならないのはわかるけど、強制的に持たされた肉体側のカルマをなぜ解消しなくてはならないのか……。

しかしながら、それは違うのです。

なぜその家系に生まれたのか。そこには理由があります。その家系に入る必要があったからこそ、その家系を自分で選んで生まれてきたのです。

その家系に引き継がれている「良きカルマ」を利用しなければならない必要があった方も、いらっしゃるでしょう。だからこそ、良きカルマを利用するからこそ、悪しきカルマの解消も同時に引き受けざるを得なかった、というパターンもめずらしくありません。

一方で、その先祖のし損ねは、実は自分自身の過去世でもあった。だから、

責任を持って今世その家に生まれることで子孫として請け負って消滅させることを選んできた場合もあるのです。

つまり、すべてのことには理由があります。そしてそれはすべて宇宙の法則においてつじつまが合うようになっているのです。

この章を終えていくにあたり、みなさまにご理解いただきたいことがいくつかあります。そのうちの一つは、この世の法則は嘘をつかないということ。

魂側のカルマであれ、肉体側のカルマであれ、一方的に理不尽に押し付けられたものはないということです。すべては、自分という営みを通じてこの世に表出させる必要があったということもお伝えしておきます。

ですから、不公平だとか、なぜ自分だけが、と思うのではなく、それにはそうなる理由があり、必要があったのだと理解することが大切です。

## **【まとめ】**

**今世を生きる私たちの問題の多くは、先祖の影響から来ている。**

**これらは、先祖や他家の者のネガティブで強烈な思いから生じていることがほとんどなので、魂側に生じたカルマより取れづらい。**

**ほとんどは、先祖供養を通じて浄化されていくものとなる。**

## 第5章 呪術のベーシックな方程式

### 呪術を引き起こすのはダークサイドたち

この章では、呪術について扱っていきます。ただし、本来、呪術というものは非常に奥が深く、そのすべてをお伝えすることはできません。ですから、ここで扱っていくのは、私が知り得る、高次元の存在たちから聞いた情報のみになっていきます。

高次元の存在たちからの情報によると、はるか昔から、世界各地で呪術という概念は日常的に存在していました。というのも、その昔、人々の望みが叶いにくい世界観の元で庶民は生きさせられていたからです。また、時の権力者たちは非常にエゴ的であり、さらなる地位と名誉を求め、自分たちだけが有意義であり続ける世界を飽きることなく望み続けました。

昔の地球は現在よりもはるかに周波数が低く、生きている人々の周波数も同じように低かったところから、このようなエゴ的な人々が今以上にいたのです。

そうであるときに、人々が考えたのは「自分の望みを何としても叶えたい」。すると、このような人間たちの欲に目を付けたダークサイドたちが、

とある人々を利用しながら、この欲を餌に多くの人々を呪術という概念に引き寄せました。

つまり、宇宙の自然の流れを阻害することでその欲を無理やり叶えてみせる、ということをやったのけたのです。

基本的に呪術は、とある形式に則って行われます。数字や図形が使われたり、手印といって、手の形によってその状態を引き起こすようなものもありました。それを扱う者は呪術師と呼ばれ、彼らがダークサイドの一形態である、悪魔的な存在を呼び出して、彼らと契約を交わしながらその状態を作っていたのです。

ダークサイドについては、第 5 章で詳しく解説していきますので、ここでは概要をお伝えするにとどめます。

ダークサイドとは、簡単に言えばこの地球の周波数をこれ以上上げないように目論む集団のこと。彼らの出どころはやはり宇宙ですが、宇宙のどこから来たのか、多くは語られていません。私自身の知るところによると、この宇宙のどこかにエアポケットのようなところがあり、そのようなところから侵入した外来種の存在であるということ。

すなわち、彼らは内宇宙系の存在ではなく、そもそも、私たちが今いる銀河系にいた存在でもないということなのです。

彼らの目的は明らかであり、すべての宇宙ルールを破壊することにあります。

宇宙ルールとは、大きな意味でいえば、私たちがワンネスの考え方の元、源である創造主に還っていく道そのもののことです。もっとシンプルにいうと、ありとあらゆるものがあるがままであることを許していく、自然であり続けるために決められたものです。

宇宙ルールに則って、私たちは宇宙での転生を繰り返しながら、魂を本来の状態に戻していく、すなわち光に還っていくことを目指しています。

しかしながらダークサイドたちは、それをできるだけ遅らせようと思論んでいます。遅らせるというよりは、いつまでたっても私たちの魂が本質に戻れないように、さまざまな横やりを入れてくるのです。

その一環として、呪術という概念を人々に教え込みました。呪術とは、基本的に宇宙の自然の流れを阻害し、時空を無理やりねじ曲げるようなものです。

すべてのものがあるがままにある状態がワンネスそのものであり、創造主に戻っていく状態であるとしたら、呪術とはその真逆を行く行為そのものであるということなのです。

## 呪術とは時空を捻じ曲げることで叶えていくもの

呪術は、あるがままであるときには絶対になし得ない状態を、時空間のどこかに無理やりひずみを生じさせて成立させるものです。このとき、だれがそれをやるのかというと、結局、ダークサイド系の宇宙人たちであるということなのです。

ダークサイド系の宇宙意識体の中でも、周波数がすこぶる高い存在たちはいます。そのような存在たちは、次元が高いのでいとも簡単に多次元領域にアクセスすることができます。そして、本来はしてはならない、3.5 次元の私たちからしたら、魔法としか思えないような、とんでもない奇跡を起こしてみせるのです。

たとえば、私をサポートしてくれている高次元の存在たちも、存在する次元が非常に高いので、やる気なら、人間からしたら奇跡としか思えないようなことも簡単にできますし、私たちのいる次元よりはるかに高い場所にいる彼らからしたらそんなことはわけないことなのです。しかしながら、彼らは決してそれをしません。してはならないことがわかっているからです。

この宇宙が、自然であり続けることが宇宙ルールの基本ですから、彼らは宇宙ルールを阻害することは基本的にはしません。例外として、このままでは

確実に危険がおよぶ……というようなときに、時空にわずかなひずみが生じることを引き受けて、それを行うことはあります。

時空にわずかでもひずみが生じるということは、しわ寄せとして何らかの出来事がだれかにおよぶということ。曲げた時空がほんのわずかであれば、それほど重大な出来事ではないでしょう。しかし、時空を大きく曲げれば曲げるほど、それに比例するようにその重大さは増します。

ここでいう「しわ寄せ」とは、そのときに曲げた時空のレベルや内容によりますが、たとえばだれかが怪我をすとか、事故を遭うといった類です。時空を大きく曲げた場合、だれかが命を落とす、しかも複数人、あるいは大勢の人が命を落とす、ということもあり得るのです。

ホホワイトサイドの存在たちは、このようなことを極力しないように注意しながら私たちを守っています。しかしながら、ダークサイドたちは時空を曲げることを平気で行います。そうすることで、私たちが創造主へと還っていく機会を永遠に失わせようとしているのです。

このようにして時空を曲げるような呪術を繰り返した結果、今生きている私たちは、その被害として、さまざまなエネルギーブロックを抱えることになりました。

基本的に呪術とは、その昔の日本でも多くの方が利用していましたし、

それはヨーロッパや中南米、北欧を含む世界中で同じようなことが行われました。

北欧には北欧独自の呪術が存在し、中南米には中南米の、そして日本には日本の呪術がかつてありました。日本の呪術で有名なのは陰陽師ですが、彼らが活躍する以前から、日本にもさまざまな呪術は存在しました。その多くは、古代中国から伝わったものです。

### **呪術はかけられている間はそのことに気づけない**

ここからは、私の実例を元にお話ししていきます。

今の私は、かつてかかっていた相当量の呪術が外れた状態にあり、だからこそのわかる感覚があります。その一つは、「呪術は非常に外れにくい」ということ。またもう一つは、「呪術にかけられている間には、それに気づくことができない」ということです。

たとえば、以前の私は遅刻が常でした。「やる」といったことの期日や間に合わないのは当然のこと。約束したことすら忘れてしまうことも頻繁にありました。

また、そんな自分をどうしても好きになれなかったし、自分のために生きることができなかった。こう書くと、人様のために生きるすばらしい人だと自ら思っていたように聞こえてしまうので、違う言い方をします。それは単純に、自分をダメにするためにしか生きていなかった、ということです。

これらの状態は、実は呪術からもたらされていました。外れた今、それがはっきりとわかるのです。なぜなら、もうそうではないから。

今の私は目が覚めています。自分が長らく呪術にかけられていたという理解があります。理解するだけでなく、もうそれらの呪術は解けているので、自分がなぜ長い間そのような状態だったのかもおよそわかってきました。

その理由の一つは、かつての私が過去世において錬金術師や呪術師であったことが非常に多くあった、ということです。人にかけたり、また同時代に同じようなことをしていた存在にかけられたりしたせいで、通常の人よりはるかに多くの呪術が魂側にも、肉体側にもかかってしまっていました。

そのようなことを知らなかった前半生の私は、のほほんと無邪気に「自分は絶対に成功者となり幸せな人生を送る」と信じ込んでいました。

しかし、人生が進んでいく中でうまくいかないことが増えていきました。どれほど努力しても人生は一向に良くなりならず、それどころか不安や焦りだけが増大していきました。その結果は、神経症になりそうなほど

日々を苦しみとともに過ごす人生であり、何かに依存しなければ生きていけないほどの状況でした。

頭では「こうした方がいい」とわかっているのです。逆に「これをしてはダメだ」とはっきりとわかることも多くありました。しかしながら、そのような思いとは裏腹に、それを選択することができず、一方でそれしか選択できなかつたりもしました。頭で考えていることと反対の行動をいつも選択し、それゆえ、うまくいかないことばかりだったとも言えます。

つまりこれこそが呪術にかけられている状態だったのです。度重なる遅刻グセも、約束をまるっきり忘れてしまうことも、ほとんどすべての、私自身の人生を台無しにする行動は呪術によってもたらされていたのだと、今頃知るのです。

最近の私は、できることが格段に増えてきました。睡眠時間をそれほど犠牲にせずとも、さまざまなことをサクサク終えることもできるようになりました。

以前に比べてうっかりミスも驚くほど減りました。何よりも、自分の頭で「こうだ」「こうすべきだ」と考えたことが、すんなりと実行できるようになってきたのです。

何度も言いますが、以前はそうではなかったのです。直そう、直そうと

何度試みても、どうしても直せなかったこれらの悪癖が、今はもう努力をしなくても、ないのです。

ここで注釈なのですが、結局呪術とは、魔法にかけている状態なので、自分の努力でどうにかなるものではないのです。どれほど頭で考えても、気をつけようとしても、できない。それが呪術の恐ろしさだということです。

呪術師をしていた過去世を持つ人は、実はスピリチュアルが好きな方に非常に多くいて、そのような方は、やはり私と同じように、非常に大きな呪術の影響下に遭っています。

なぜなら、呪術はそれを行った者に多くの厄が降りかかるものだからです。呪術とは、ダークサイドとの契約によって行われるものであり、時空を大きく曲げるものも含めて、宇宙にひずみを生じさせます。その結果、世の中で帳尻が合わないさまざまなことが起きてくるとき、そのひずみを生じさせた本人にその厄が降りかかるのです。

そのときの契約は、時空を超えたエリアで今も効力を発しています。そして、それによって人生を狂わされた人のカルマも背負う必要性が出てきます。また、術返しに遭うこともあります。呪術をかけたせいで人生を立ち行かなくされた人から、今度は呪術をかけられることもあるのです。

このように、呪術師の過去世を持つ人には、さまざまな方向から、時空を

曲げ続けたカルマやカルマ的要素が降りかかり、結果として私のように、理由がわからないまま人生がうまくいかない、となりやすいのです。

### **時空を超えたエリアに呪術の影響力は残されている**

さて、ここからは、「なぜ今を生きる私たちが、古い時代の呪術にいまだに悩まされているのか」について解説していきます。

基本的に、今の私たちに作用し続ける呪術のほとんどは、今世のものではありません。その多くは、過去世において、私たちがかけたりかけられたりしたものです。また同時に、私たちの先祖が呪術や呪いの被害に遭い、子孫としての私たちに影響し続けているものもあります。

たとえば、100年前に生きていた過去世のあなたが、呪術にかけられたとします。100年も前のことなのだから、それは薄れていたり、効かなくなっているのではないかと思うでしょう。しかしそうはいきません。

あらゆるすべてのエネルギー的影響力は、目に見えない世界にあります。この領域は、空間も時間もない場所。すなわち、100年前にかけられたとしても、そのエネルギー的影響力は空間も時間もない場所に

封じ込められています。そして、今を生きる私たちの魂に影響し続けているのです。

私たちの魂はエネルギーの塊であり、その質は基本的に変わらないと言いました。その魂めがけてかけられた術ですから、何度生まれ変わっても、その術を解かない限り、その影響力はあり続けるのです。

しかしながら、呪術が作用するのは、実は魂にばかりではありません。かつて、私たちの先祖が呪術にかけられた場合、肉体を通じてその影響力は子孫にまで引き継がれます。

たとえばそれは、「体の不自由な子どもが代々生まれるように」とかけられたものであれば、当然のことながら子孫がその悪影響を受けるのがわかるでしょう。

ほかにも、両親の偏った考え方が、その昔、先祖がかけられた呪術のせいできている場合もあります。先祖がその呪術にかかってしまったせいで、極端なものの考え方をするようになったとしましょう。すると、子どもがその親に育てられた結果、おかしなものの考え方を引き継ぎ、そのまた子どもも……と、連鎖していくのです。

実際には、先祖的呪術の影響力はこれに終わらず、先祖が暗闇の神と契約を交わしてしまったせいで、まったくそんなことは知らない子孫が、いつまでも

その暗闇の神の配下に置かれ続けるようなことは非常に多くあるのです。

その昔の日本はとても貧しく、農民として寒村に生まれたならなおさら、人々は生きていくために必死で、特定の望みを叶えるためにというよりは、生きていくために呪術を利用した者も多くいました。

たとえば、稲荷信仰などがそのよい例で、稲穂が実るように、長雨がおさまるようにと、五穀豊穡の祈りをささげているようで、実は知らない間に暗闇の神や、神もどきとの契約がなされ、それが呪術的な影響力として残されているような場合もあります。

人を恨み、呪い殺すために……というものばかりが呪術ではなく、単純に、「あの人と結婚したい」とか「跡継ぎを産みたい」とか「お金を得たい」といった、庶民の素朴な願いを叶えるためにも、呪術は広く利用されてきました。

その結果、先祖が時空を曲げること祈禱を依頼したことから、その契約のために曲げられた時空のひずみが、何代も後の私たちに影響を与える場合もあるのです。

呪術をサポートするのは、ダークサイドたちだと言いました。結局彼らは、悪魔的な存在だということです。彼らは、宵闇の存在として知られているような恐ろしいことを人々にやすやすとやってのけるような連中ばかりでは

ありません。

感情や感覚がそもそもなく、ただ頼まれたからそれをやる、という存在も多くいます。呪術を引き起こしていくようなダークサイドたちは、基本的に闇の存在たちだと覚えておきましょう。彼らには、おおよそ良心というものはありません。また、情緒的でなく、同情心や庇護心も持ち合わせていません。

ですから、「契約」に則ってただそれを行います。契約とは、たとえば、「ご飯が食べたいなら、500円払え」というようなことです。

「人を一人呪い殺したいなら、代わりに牛を一頭くれ」。このような言い方の方がわかりやすいかもしれません。基本的に、呪術を成立させていくような存在は、悪魔だと理解をした方がよく、彼らが欲するものを差し出すことで、契約は成立します。

そして、彼らが依頼主からの依頼に従ってそれを行うと、時空が大きく捻じ曲げられてしまう。そのひずみは、たいていは依頼主ではなく、それを実行した術師が請け負うことになるのです。

なぜならば。誰が宵闇の存在と契約を結ぶのか、ということです。依頼主の依頼に従って、呪術を行う者がする。ということは、その術師が悪魔と契約して、そこから起きたひずみを肩代わりして受け取るということになるのです。

実際には、その術師は、呪術を行うことで非常に大きな富を得たかも

しません。特に、時の権力者に寵愛されたような、並外れた力を持った呪術師は、驚くほどの富や地位、名誉を権力者たちから授かったことでしょう。

しかしながら、そのときに悪魔と知らずに契約をし、時空にひずみを多数生じさせたせいで、そのときの人生も、最終的にはうまくいかず、さらには、その人生だけでは償いきれないほどの代償を、次の人生において払い続けなくてはならなくなったのです。

ですから、よりスピリチュアリティが高く、過去世においてさまざまな術を扱っていたであろう、生来ヒーラーとしての資質を持っている方ほど、呪術の被害に遭っている可能性が高いのです。そして今世、お役目ができないように、もともとのサイキックパワーも発揮できないようにされた上、呪術によってさまざまなことができないようにされ、それによって自分嫌いや自己肯定感の低さが引き起こされているのです。

### **呪術は数字式の錠前を開けていくような行為**

さて、ここからは、駆け足とはなりますが、呪術がどのようなメカニズムで作用しているのかについてお話ししていきます。

前述のとおり、呪術は形式に則って行われます。その多くは数字や紋章、文字や言葉などを通じて行われます。そのほか、手印や体の特殊な動きでそれを行う場合もあります。

シャーマンの儀式などでは、火や踊りが用いられましたし、古い日本の時代に好んで使われた呪術の一形態に陰陽師があり、この場合はさまざまな道具や、生贄として動植物が使われました。

西洋であれば、ハーブやそれを煮出した汁、鷹の足や猿の手といった、さまざまな生き物のパーツも用いられました。

また、忘れてはならないのが生贄です。基本的に、暗闇の神との契約の儀式ですから、彼らがそれを好むのであれば、牛や豚や馬、時には人間が差し出されて呪術の儀式は行われました。大がかりなものだと人間が数百人、生贄として差し出されたこともあるようです。

実際に、時の権力者が自分たちだけでその地位を代々維持し続けようと目論む時には、暗闇の神に依頼をして、何代も何代も、人間の生贄をひそかに捧げ続けたようなことも多くあったようです。

これらを通じて、呪術師は何をしたのでしょうか。契約を交わしたダークサイドとしての暗闇の神にサインを出し、時空を曲げさせました。とあるときには、人を病気にさせ、とあるときには死に至らしめました。また、

通常では叶わないはずの人の望みを、不自然な形で叶えたりもしました。

そのように形式を利用して曲げられた時空は、基本的にかけた者にしか直せない、という不文律があります。かけた者が、同じ形式を利用して行うことでしか、呪術は解けないことが常なのです。

それは、暗号を読み解くのにも似ています。ダイヤル式の複雑な錠前は、その鍵を開けることができる数字を知っている者しか開けられない。それが、呪術です。

しかしながら、特定の状況下においては、その暗闇の神と同レベルにいる高い存在の助けを借りながら、解除ができます。それが、現在の私が行っている呪術解除です。

実際には、私自身はそこで事細かに何が行われているのかわかりません。目に見えない領域の、しかもはるかに次元の高い場所でそれは行われています。そのため、肉体を持った私には知覚ができないのです。

でもそれは、私の肉体とエネルギー体を通じてでなければできないと、私の高次元のガイドたちは言います。地球領域にあるものは、地球領域に生きている私たちにしか動かさない、という宇宙ルールがあるからだそうです。

宇宙ルールに則ってでしか、ホワイトサイドの存在は動きません。だからこそ、私という媒体が必要であり、私を介してそれらは行われていくのです。

その理由の一つに、私自身がかつて呪術師だったということがあり、今の私は覚えていなくても、霊的な私はやり方を心得ております。

ですから、呪術解除セッションの時には、私は知らない間に手印を切り、手刀を切る。体が勝手に動いて、不思議なダンスを踊らされますし、数をランダムに数えさせられもします。

これらは、時空を超えた領域と、今ここにいる私自身の領域が交差した場所で、何かが行われていることの証であると私は捉えています。

不思議ですが、自分で呪術解除セッションを行うと、確かに、私自身の呪術は一つ、また一つと解けていき、それはお受けいただいたクライアントさんも同じようなのです。そのようなクライアントさんからの変化に関するご報告を拝読するにつれ、私自身は呪術を自分が外しているという確信を深めていくのです。

## 【まとめ】

呪術はダークサイドたちによってもたらされていく、「時空を無理やり捻じ曲げて、不自然に物事を叶えていく」こと。

どれほど昔にかけられた呪術も、目に見えない領域ではいまだ存在し続け、その

大きな影響力下に私たちは生きている。

魂側につく呪術は、自分が過去世においてかけられたり、かけたりしたもの。

肉体側につく呪術は、先祖がかつてかけたりかけられたりしたもの。

どちらも形式を利用してかけられているので、呪術解除の方式に則ってでしか解除されない。

## 第6章 カルマが果たす役割

### カルマを解消しようともがくからこそ私たちは学べる

カルマについては、第3章および第4章でもお話ししていますが、ここでは、カルマそのものの説明ではなく、「なぜ私たちはカルマを引き受けて生まれてくるのか」について、お話ししていきます。

基本的には、カルマを持たずに生まれてくる人はいません。みな何らかのカルマを今回の人生に引き込んできます。

なぜなら、私たちが生きる地球ルールとして、「自分の蒔いた種は自分で刈り取る」というものがあるから。自分で生じさせた過去世のカルマは、自分自身で体験を通じて昇華させていくしかないのです。カルマを消失させることは、私たちが生まれ変わりを選択させられる理由の筆頭になります。

私たちが生まれ変わるのは、このカルマを解消するためにある、と言っても過言ではありません。別の言い方をすると、解消すべきカルマがある以上、私たちは生まれ変わりを選択せざるを得ない、ということになります。

しかしながら、カルマは、それ自体が悪ではありません。カルマにはカルマが果たす役割があるのです。

通常、カルマとはその人の人生の中のうまくいかない要素となります。  
たとえば私であるならば、恋愛のカルマや子どもに関するカルマ、お金のカルマを持って今生まれてきました。

人生の前半生においてそれらは、まったくとっていいほどうまくいきませんでした。しかしながら、うまくいかないからこそ愚直にそれらに取り組み、その結果として、人生の後半生においてそれらは解消しつつあります。

今現在、それらのカルマは私の人生において、ほとんど悪影響をおよぼさない程度になっています。つまり、これまでの人生を通じて、私は今世持ち越してきたカルマのほとんどをすでに解消したともいえるのです。

それどころか、カルマが解消されたそれらの部分は、私の力にもなっています。これまでうまくいかなかったからこそ創意工夫を重ね、なんとかうまくいきたい、なんとか問題をなくしたいと向き合ってきました。だからこそ、それらは私にとって大きな学びとなり、今ではむしろ得意分野であるとも言えるほどになりました。

実はカルマとは、学びを得るために自ら自分の人生に引き込んできたものでもあるのです。

実のところ、私たちが生まれ変わりを繰り返す理由はカルマの解消だけではありません。生きることによって魂を磨き上げていくのです。精神性を

向上させることこそ、私たちが生きる意味なのです。

そしてカルマこそが、私たちが精神性を向上させるため、魂が学びを得るために持たされてきた、「うまくいかなさ」なのです。

人生の初めから何も問題がなく、あらゆるすべてのことがうまくいったとしましょう。その人は何を通じて、何を学ぶのでしょうか。もちろん、人はうまくいかないことからしか学べないわけではありません。苦しいことだけが精神を成長させる、というのも間違いです。

しかしながら、なかなかうまくいかない、困難と取り組むことから学べることはやはり多くあります。また、地球での生まれ変わりを繰り返している私たちの中に、カルマが一つもないという方は基本的にいません。

解消すべきカルマがある以上、私たちはそれに向き合っていかななくてはなりません。そして、そうであるならば、自身の魂の成長のためにそれを利用しない手はありません。カルマが解消されると同時にそれが自身の魂の向上につながるのであれば、それは一石二鳥というもの……

そのようにして、私たちはカルマを自分の人生プランに込めてくるのです。

## カルマがより解消しやすくなっている今という時代

ここからは、人生プランにも通じるお話をしていきます。

なぜ私たちは、この人生を選んで今のこの地球に生まれ変わってきたのでしょうか。実は、現代はアセンションの只中でもあり、以前に比べてはるかにカルマの解消がしやすくなっています。

地球の周波数も、人の周波数もはるかに低かった以前においては、自らカルマを背負ってきた事実を認識できない私たちは、そのカルマやカルマ的要素に苦しめられました。

それゆえそのカルマを解消できないどころか、さらに大きなカルマにつなげてしまった方は多いです。そしてそれによって、私たちの魂にネガティブエネルギーが付着し、浄化に四苦八苦するような状況にもなっているのです。

しかし、現在の地球は周波数を急激に上げていて、それに伴い、そこに生きる私たちの周波数も格段に上がっています。その結果として、このような目に見えない世界の教えをみなが知るようにもなっていますし、「自分の人生は自分で創造している」という、この世の真の法則を多くの方が理解し始めています。

人は生きて死んだらそれで終わりではなく、何度も生まれ変わりを繰り返していくことや、過去世のみならず未来世の影響も受けていること、神職や僧侶、宗教家でなくともスピリチュアルな観点で自分の人生を眺めていくことなども、私たち一般の人の中に浸透しています。

だからこそ、この時代に私たちは生まれてきたと言っても過言ではありません。サポーターとしてこの地球を生きるという目的を持ってこの地球エリアに飛び込んできたような方たちはもちろんのこと、そうではない方たちも、今の時代を好んで、カルマを持って生まれ変わってきているのです。

それは、私たちの魂側に山積みになっていたカルマが、これまでよりも解消しやすくなっているからなのです。

ここでみなさまに理解していただきたいことは、「カルマは取り外せる」ということ。そのカルマを取り外す過程において霊的成長を遂げることができずし、さらには、この時代の地球の周波数に合わせて、ご自身の周波数を上げていくこともできるのです。

そして周波数が上がれば上がるほど、カルマはより取り外しやすい状態ともなるのです。

その結果として表れてくるのは、悠々自適な生活です。それだけでは

ありません。この次の世で選べる人生が、格段と楽になります。しかも、カルマを解消するために魂を鍛えた結果として身に着けたスキルも持ち合わせているので、その人生は今世よりも軽やかで、飛躍上昇しやすいものとなっているはずです。

### **カルマを受け入れて向き合っていくと魂は成長する**

ここでお伝えしたいことは、カルマを敵視する必要はないということ。それはご自身で自ら、魂を成長させるために持ち込んできたものなのですから。カルマを解消する過程で成長を遂げたあなたは、必ず未来世でより幸せな人生を採択することができるのです。

実際のところ、カルマの解消は簡単ではありませんが、カルマの解消は可能です。というのも、ご自身で選んでこの人生に引き込んできたものだからです。そう考えると、乗り越えることができないカルマやカルマ的要素はない、ということにお気づきいただけるでしょうか。

ご自身が直面するうまくいかないことや困難に対して、逃げずに、真摯に向き合っていけばよいのです。そして、エネルギーワークや

カルマ解消の旅などを通じて積極的に解消していくこと。すると、人生の後半生において格段に楽になるだけでなく、次の未来世も必ずより輝かしいものになっていきます。

補足的に、ヒーラーとして他者のカルマの解消を促進させることで積み上がる良きカルマは、次の世においても必ずより良き資質として表れてきます。なぜなら、大勢の人の魂を向上させることこそが宇宙の望みであるから。それによって、あなたは良きカルマを持ち越すことになるのです。

しかしながら、他者のカルマを肩代わりすることはおすすめしません。ここで言う「他者のカルマを肩代わりする」とは、とある人が困難に直面しているとき、過剰なサポートをしてその問題を片付けてしまうようなことを指します。

人は、自分で作ったカルマを自分で解消していかななくてはなりません。それは、不文律でもあります。ヒーラー的資質を持つ方の中でも、より自己犠牲的であったり、必要以上に同情的である方は、カルマの解消に苦しんでいる人を見ると、ついつい必要のないサポートをしてしまいがちです。

たとえば、借金を何度も肩代わりした上に、自分が働いて得たお金をその人に与え続ける、悩んでいる人の相談に乗るだけでなく、何の対価も得ずにその解消に乗り出し面倒ごとを引き受けてしまう、といったことが

これに当たります。

これは、親が子どもの宿題をやってしまうようなもの。子どもは、わからないなりに苦勞しながら宿題に取り組むからこそ学力がつき、それによって人生を乗り切っていくための知恵や経験を得ることができるようになるものなのです。

ヒーラー的資質を持つ方は特に、たとえ人があなたの目の前で困っていようとも、他者のカルマを解消しようとすることは地球ルールの観点から良くないことなのだ、ということを肝に銘じてください。

本章を終えていくにあたって、要点をまとめます。

1. カルマとは、今を生きるすべての人に与えられている、人生の課題
2. カルマが解消されると、その人の魂の質が向上する
3. カルマの解消に愚直に取り組むことで、その人は生きる力をつけていく
4. 他者のカルマを肩代わりするのではなく、その人自身による解消を促すことで、あなたの未来世により良きカルマが積み上がる

以上です。

カルマが私たちの人生に果たす役割について、ここまでお伝えしてきましたが、この情報を元に、ヒーラー的資質をぜひ育てていってください。

ヒーラー的資質とは、他者のカルマに巻き込まれず、また肩代わりをすることなく、他者がカルマの解消をしながら霊的成長を遂げていくサポートをしていく、その感覚を指します。

他者のカルマを肩代わりすることは、その方の魂的成長を阻害するだけでなく、あなた自身が余計なカルマを作ることにもなりかねません。宇宙は常にバランスを取りたがっていること、カルマは、そのカルマを生じさせた本人が解消していくよりほかはないということ、ぜひご理解ください。

## **【まとめ】**

**カルマはその人の人生のうまくいかなさを作る。**

**しかし、決して悪ではなく、あなたが自ら選んでこの人生に取り込んできた。**

**愚直に取り組み、その解消を目指すことで魂は磨かれ精神的成長を遂げていく。**

## 第7章 人生のプランの立て方（生まれる前）

### あなたと高次元の存在のコラボによって人生プランは決まる

ここでは、人がどのように自分の人生を組み立てて生まれて来るのか、  
についてお話ししていきます。

動画の方で具体的なお話をしていますので、ここでは補足的な情報をお伝えします。

人は、なぜ生まれ変わりを採択させられるのでしょうか。その理由の一つがカルマの解消であるとカルマの章でお話ししました。

しかし、カルマの解消だけが私たちがこの世に生まれる理由ではありません。人によっては、もう解消すべきカルマがないのに、地球をサポートするためにあえて肉体を持って生まれ変わりを選択するという人もいます。数は非常に少ないですが、そのような方も実際にいらっしゃいます。

ここでお伝えをしていきたいのは、下記4点となります。

1. 人は自分で人生プランを決めて生まれてくる
2. 自分で決めた人生プランのうち、変えられるものと変えられないものがある
3. 人生プランは 100 パーセント自分で決められるわけではなく、向こうの世界にいる高い意識存在と相談しながら決めている
4. だからこそ、間違いのない人生プランとなっている

つまり、今現在のあなたがどのような人生を送っていようとも、基本的にはそれはあなたが自分で決めた人生であり、言い訳をしたり嫌がったりするのは違うのだということです。

### **魂の求めることに従えば自分の立てた道に沿って生きられる**

「1」からお話ししていきましょう。

地球は一つの学び舎です。肉体を持って生きることで、魂の質を向上させることができます。別の言い方をするならば、地球で生まれた魂はもとより、ここに迷い込んでしまった宇宙由来の魂であっても、この地球の垢にまみれて

しまった以上、その垢を洗い流すことができるのはこの地球でしかない、ということなのです。

これが、いわゆる輪廻転生とカルマ解消の理論です。

また、宇宙全体は、ワンネスの方向に導かれています。地球ももちろんその体系に取り込まれており、そのような意味合いにおいても、ここに生きるということは魂の向上につながるということなのです。

魂の向上を言い換えるならば、それは一つへと還っていく道です。源へとやがて吸収されるべく、魂が生まれてからずっと不純物を取り込み続けて大きくなってしまったならば、今度はそれらの不純物を取り除いて、純度の高い光の状態へと戻っていく必要があります。そのために、私たちはこの地球での生まれ変わりを繰り返していくのです。

このような観点から、人は生まれてくる前に、向こうの世界のとある場所にしかるべき期間いたのち、生まれ変わりを決めます。この決め方は人によってさまざまで、すぐに生まれ変わりを希望する人もいれば、しばらくとどまってから、あちらの世界にいる高い存在の導きに従って、生まれ変わるように押し出されてくる人もいます。

基本的に私は好奇心が旺盛で、あちこち飛び回ってあらゆるすべてを体験したいという、冒険家の魂を持っています。ですから、生まれ変わりの

数が人よりけた外れに多く、そして、ポジティブな体験だけではなく、ネガティブな体験もしてみたいと、あえてネガティブな人生を設定したこともあり、そのせいでいらぬカルマを上積みすることになったようです。

通常は、ご自身の溜まったカルマの解消と魂の質の向上のバランスを考えた上で、人生においてうまくいかないことや困難（=学び）が決められ、そこに良きカルマや役割を盛り込む形で、人生プランが決められます。

このとき、誰と結婚したいとか、せめてこれだけはやっておきたいなど、ネガティブなことばかりでなくポジティブかつ個人的なことも要望することができ、それらのバランスを見ながら、最終的にはあちらの世界にいる高次元の存在の承認を得て、生まれ変わりが決定します。

つまり、あなたのご自身のカルマを引き受けると決め、役割も理解して生まれてきました。しかしながら地球ルールは過酷であり、前世のことも、このような生まれ変わりの場所のことも、すべてを忘れさせられてしまうようにできているのです。

でも、思考的な記憶がないとはいえ、あなたが決めたのです。また魂を通じて、あなたがその道筋を間違えることがないように設定されています。つまりは、すべてをただ自然に受け止めて、左脳的思考に偏らないとき、魂の欲求に従い続けていけば、基本的には自分の決めた人生プランに沿って

生きることができるようになっているのです。

## **カルマを果たせば人生プランは変えていける**

「2」についてお話ししていきます。

自分であらかじめ決めてきた人生プランの中で、変えられるものと変えられないものがあります。

変えられるもの、それは、ご自身で請け負ってきたカルマ以外のもので、あなたを司る高次元の存在たちがOKを出してくれたもの。これは変えることができます。

また、ご自身で請け負ってきたカルマやカルマ的な要素を前倒しで解消していくことで、その後の人生を「今生きている自分」の考えに従って変えていくことができるようになります。

変えていけないもの。それはやはり、自分で請け負ったカルマを放棄するような、魂の学びと逆行するような変更は、宇宙は受け付けてくれません。

そもそも、なぜあなたは生まれてきたのでしょうか。カルマの解消とともに

魂の質の向上を目指して生まれてきました。そうであるとき、「カルマが大変なんです。もう背負いたくないので変えてください」と言っても、変えてもらえないであろうことは容易にご想像いただけるでしょう。

しかし、前倒しで解消することはできます。それは、エネルギーワークを通じて、魂の質の向上を阻害しないまま、また宇宙の自然な流れを阻害しないように、ネガティブな過去世体験に由来する記憶を解き放っていく。すると、私たちはもうカルマに囚われた考え方をしなくてよくなるのです。

またもう一点、特例とはなりますが、とあるカルマを、別のカルマと交換するような形の変更は可能です。その一例を挙げると……

A子さんは好きな彼と結婚したいと思っていましたが、実はその彼との関係性は、子どもを持たないという契約の元で結ばれる、カルマの解消として自ら設定してきた結婚であった、という場合。

エネルギーワークやセッション等でそれに気づいたA子さんは、彼とも結婚したいが、今世子どもも持ちたい、と思ったとします。このとき、ほかのカルマに変えてもらうようにガイドをお願いをして、承認されれば人生プランの変更がなされます。

新しいカルマを背負わされるとき、それは家族関係とはまったく異なるカルマとなる場合が多いです。たとえばお金に困る、仕事や人間関係で悩む、などです。

これらは、時空を曲げるご祈祷にはあたりません。なぜなら、あなたのガイドが承認したことは、宇宙ルールに則ったことだからです。

また、そこで新たに請け負わされるカルマは、もともとあなたが持っていたけれども、今世に持ち越してこなかったカルマです。つまり、あとから勝手に付け加えられたものではなく、あなた自身のものであることから、時空を曲げたことにはならないのです。

変えられないプランとは、カルマを逃れようとする事。カルマがあって不可能なことを、無理やり可能にしようとする事は、いわゆる時空を曲げる系のご祈祷にあたりません。ですから、それはできないのです。

ただし、どうしても変更しなければならない場合もあるため、これについては、「3」でご説明します。

## あなたの魂は個として存在していない

「3」についてお話ししていきます。

あなたの魂側には、サポーターとしてあなたの一部分でもあるスピリットガイドがついていますが、実際には、目に見えない領域では、数限りないタイプの高次元の意識体たちが人類のサポーターとして働いてくれています。

そのほとんどは、宇宙由来の存在であり、地球よりはるかに意識レベルの高い星から派遣されてきている存在たちです。

「第1章 魂の質を知る」でもお話ししましたが、この地球の生命形態を生み出したのは、その当時、高度な技術を持った宇宙意識体たちです。その頃から、地球は彼ら宇宙意識体たちの管理下に置かれる形となりました。

ですから、統制が取れやすいように、今でもさまざまな星からサポーターたちが、名乗りを上げて地球エリアに乗り込んできているのです。そして、地球ルールに従って働いています。

地球が位置する銀河系を代表するメンバーとして、銀河評議会というものがありますし、それ以外にも同胞団として活躍しているような、地球をサポートしたがる宇宙意識体たちも多くいるのです。

実際のところ、地球エリアに根差す存在として、さまざまな組織や団体がありますが、人生プランの話とは少しだけ異なるのでここでは割愛します。

地球エリアにおいて、人間の生まれ変わりをサポートする存在として有名なのは天使族です。ミカエルやラファエル、ガブリエルといった大天使以外にもさまざまな天使がいて、子どもや赤ちゃんの守護者として知られていますが、実際のところは子どもや赤ちゃんのサポーターであるばかりではなく、人間の生まれ変わりもサポートしています。

天使以外にも、知恵や英知を授けてくれる存在や、再び地球を生きるにあたってもっと深い癒しが必要となれば、その癒しを与えてくれるような存在も多くいます。

一般的に知られている「あの世」では、このように、地球をサポートしたいと考えるたくさんの宇宙種族たちが働いているのです。

さて、本題に入ります。あなたが再び地球での生まれ変わりを決めるとしましょう。すると何が起きてくるでしょうか。再び地球を生きるにあたり、あなたの魂の成長度合いが示されます。また同時に、山積みになっているカルマも示されます。

実際のところ、あなたは独立した個として存在しているわけではなく、より大きな「あなたの集合体」とでもいうべき、あなたが所属するクラスターが

あります。

このクラスターは、いわゆる私がセッションにおいて「集合無意識ゾーン」と呼ぶようなものだとご理解いただけるとよいかもしれません。

あなたは、個として存在しているだけでなく、集合体としても存在しています。一つのグループソウルの一員であるあなたは、そのグループソウルの成長度合いや、今後体験し得ることも考慮しながら、役割とともにカルマの解消や個人的望みも加えて、生まれ変わりのパターンを採択しなくてはなりません。

つまりは、一人でわがまま勝手に次の世をプランニングすることはできないということです。グループソウルの成長度合いと、宇宙における役割というものが、そのグループソウルはより大きなクラスターともつながっていて、このグループソウル全体も孤立して存在しているものではないのです。

一つの小さなグループソウルとしては、あなたの両親や兄弟や親友など、近くにおいて日常的にかかわる人々が挙げられます。もう少し大きくなっていくと、社会的にかかわっていく人たちとなり、さらに大きくなっていけば、村単位、県単位、国単位となり、さらに広がれば、その時代を共に生きている人々、ということになります。

これら全体を把握している高次元の存在たちの導きを得なければ、個々人の

人生をプランニングすることができないということがおわかりいただける  
でしょうか。

そして、「2」の最後にお伝えした、「カルマを超えてどうしても  
変更しなくてはならない」パターンについて、ここで解説していきます。

とある時代に生きている人類全体が危機に陥ったとき、それを  
サポートするために、特殊な任務を負った宇宙意識体たちが、あえてその時代に  
人として生まれ変わる、というパターンがあります。

たとえばイエス・キリストがそうであったように。お釈迦様もそうであった  
でしょう。より人に近い存在であれば、マハトマ・ガンジーやマザー・テレサ  
などもそれにあたるかもしれません。

そのような人たちは、実際にはカルマの体系とはまったく別のところに  
人生形態があり、一見カルマのように見える出来事も、すべてが調和するように  
ただ単純に設定されて生まれてきました。

そのような人たちは、カルマの体系の別の場所に人生プランがあるとは  
言いましたが、彼らですら、一度地球に生まれてしまえば誤ってカルマを  
発生させてしまうことも起こり得るのです。

しかしながら、実際にはカルマが発生することがないように、宇宙の  
管理官たちがバランスを取っています。さらに、人類を助ける必要が

あるときには、カルマ云々とは関係ないところで人生プランの変更が勝手に行われていくようなこともあるのです。

彼らの試みが失敗したら大変なことになる、ということを、より高い意識存在たちが感知するとき、そのようなことは特別のはからいとして行われていくということです。

もう一度整理してお伝えしていきます。基本的に、人はあえてカルマを持って地球に生まれてきます。そしてそれは通常前倒しや交換はできても、完全に取り去ることはできません。

しかしながら、人類全体の存亡にかかわるようなときに限っては、宇宙ルールに関係なく、とある人のカルマが取り去られたり、より軽いものに挿げ替えられたりしながら、人生プランの変更が行われます。少ないながらも、実際にこのようなことは起こります。

先ほどマハトマ・ガンジーやマザー・テレサなど、聖人として称される大人物について述べましたが、実際には、まったく世に知られていない人の中にも、人類全体の不均衡を請け負い、調整役として世界各地に派遣される、特殊任務を担った人たちはいます。

彼らの資質はヒーラーそのものであり、ある面においては神的でもあります。あなたがその一人である可能性も示唆しながら、話を終えていきましょう。

## 今、目の前に広がる自分の人生を認めていく

「4」についてお話ししていきます。

ここでお伝えしていくことは、そう多くありません。端的に言って、以下です。

「すべてはあなたが自由意思で決めたこと。そうであるとき、被害者意識を持つ必要も、うらぶれる必要もなく、またそうであるからこそ、どのような困難も乗り越えることができる」

以上でしかないときに、あなたは何を恐れるのでしょうか。また、何を悲しむのでしょうか。不安になる必要などありませんし、もしあなたがヒーラーであるならば、クライアントさんのカルマ的要素を憂い、寄り添うだけでなく、肩代わりする必要もないのです。

すべては、あるがまま、宇宙ルールに則って決められているのです。ですから、かつて（あの世で）自分がした選択を後悔する必要もありません。

しかしながら、第7章と次章の第8章で解説するように、一定の条件下においては、人生プランの変更も可能です。ですから、たとえ今がどれほど困難であっても嘆き悲しむのではなく、正しい知識を得て人生に

取り組んでいきましょう。

## 【まとめ】

あなたは自分の人生を自分で決めて生まれてきた。

それは、個を超えた全体の調和とともに、高次元の存在のサポートを得て決めてきたものでもある。だからこそ間違いなどない。

どのような人生であろうとも、認めていくこと。

左脳的になりすぎて、カルマ的な困難から逃げるばかり考えず、魂の欲求に従って愚直に人生に取り組んでいくと、人生の最終段階においてすべての謎が解き明かされる。

## 第8章 人生をどのように自分で変えていくか

### カルマを前倒しすることで人生プランの変更は可能

ここでは、人生プランの変更方法について述べていきます。

人生プランは、前章で一定の条件がそろえば変更可能であるとお伝えした通り、基本的にはカルマに関わらない部分や、カルマを交換、または前倒しすることで変更が可能です。

そしてこれこそが、ヒーラーを目指すみなさまにお伝えしたい、最たるものなのです。

「あなたの人生は、これこれこうだから、大変です」や「あなたの未来はこうなります（悪い未来予告）」などと、クライアントさんに断定的な言い方をすべきではない、ということでもあります。

ただし、必要かつ避けられない予定としてネガティブな情報を伝えなければならぬこともあります。

しかしながら、基本的にすべてのことは、その方の放つエネルギーによって決まっていきます。人生を台無しにしたい、というエネルギーを放っていれば、その方の人生は台無しになっていくでしょうし、何も得たくない、という

エネルギーを放っていけば、左脳的思考でどれほど「得よう、得よう」とがんばっても、何も得られないのです。

一方で、その人が、自分にとってすばらしい現実を得ていくためのエネルギーを放てば、それは現実化するのです。すなわち、未来は決まっておらず、「このエネルギーのままに行けば、この先はこうなります」という言い方をする方が、間違いがないということです。

カルマについてもこれと同じことが言えます。すなわち、「現在のカルマがこうであるから、これは避けられない」ということがあっても、そのカルマをここでお伝えしていく方法で昇華していくことができれば、そうはならない。

ということは、クライアントさんに断定的に最後通告を突きつけるよりも、「今の時代は、ほとんどのカルマを前倒しして解消することができますので、あなたの望みは叶う可能性があります」という言い方をしてあげてほしい、ということなのです。

しかしながら、実際には、非常に重いカルマもありますし、前倒しすることが難しいものもあります。それも含めたお話をしていきます。

## エネルギーワーク等でカルマとカルマ的要素を浄化していく

ここでお伝えしていききたいことは、下記の 2 点。補足的に 2 点、合計 4 点です。

1. あなたが人生プランを変更したいなら、魂側につく過去世カルマを徹底的に洗い流していくこと
2. その上で、今の自分が本当にしたいことを、意図をはき違えずに理解していくこと

補足の 2 点をお伝えする前に、上記の 2 点について解説を加えていきます。

まず「1」について。

私たちは、過去世を多く体験してきました。そのうちのいくつかは、あなたが今生きている場所（日本であることがほとんどでしょう）でのこと。

しかし、それ以外にもたくさんの国で、みなさまは生きていたことがあります。

このうち、この日本で体験した過去世で生じたカルマは、比較的解消がしやすいです。なぜなら、肉体がこの地にあったということから、この地に生きながら、その時代の自分に（時空を超えたエリアにおいて）アクセスすれば

よいからです。

しかし、諸外国での過去世の場合は、「今ここ」にいる自分が、時間と空間を超えて、そのときの自分にアクセスをしなくてはならなくなるので、エネルギー的な処理に時間がかかります。

たとえば、あなたが、かつて江戸時代に手打ちに遭ったとしましょう。そのときに、「殺される」というカルマが発生したとします。

殺されるというカルマは、実は処理がものすごく面倒です。なぜなら、殺してしまった側にカルマが発生するだけでなく、「あなたがそもそも、手打ちに遭うようなことをしたせいで、殺した人に『人を殺すというカルマ』を発生させてしまった」というカルマを背負い込むことになるからです。

あなたは殺された屈辱や悔しさや痛みとともに、殺すという罪をだれかに着せたカルマも背負わなくてはならなくなるのです。すると、どうなるか。

悔しさや痛みへの恐怖という「カルマ的要素」と、人に他者を殺させてしまったという「カルマ」を同時に背負うことになるのです。

このような場合、「他者に頼ることができない」人になります。

カルマとして背負うのは、他者に助けてもらえない、という状況そのもの。なぜなら、あなたが他者にしたのは、「他者に巻き添えを食わせて面倒ごとを背負わせる」ということなのですから。

自分の失態によって、人を巻き込んで、誰かにカルマを生じさせるということは、そういうことなのです。

その果たしとして請け負うのは、人を介さず、すべてを独立自営的に行うことによって、難しい人生を送るということ。それはすなわち、「だれにも助けてもらえない」というカルマの果たしを通じて、人に迷惑をかけずにしっかり生きていくことを学ばせられるのです。

この場合の魂の学びは「自尊心を汚さず、だれにも汚されず、なおかつ間違いを犯さない自己の確立」ということになります。

しかしながら、これは「カルマの解消」だけの話。このような場合、捕まえられて殺されるという体験を通じて生じた負の記憶、すなわち「カルマ的要素」としてのネガティブエネルギーが、魂側に宿ってしまいます。

この体験を通じて魂に記憶されるのは、おおよそ「悔しさや強烈な痛み、恐怖心、他者に秘密を洩らされた、謀られた」といった、ネガティブな意識です。このような記憶は、死ぬことや処刑されることへの強烈な恐怖心と同時に、人を心底信じることができないという内的要因を作ります。

つまりは、カルマとして「他人を頼れない状況」が与えられていくと同時に、自分自身も「人を信頼できない、頼りたくない」という内的性質を持たされながら今世を生きることになるのです。

このようなカルマおよび、カルマ的要素を持たされて今世を生きる人は、非常に大きな孤独グセを内側に抱えることとなり、常に人とうまくいかず、だれからも相手にされず、助けてもらえないということが起きてきます。

人から常に誤解され、人から嫉妬されたり足を引っ張られることも多く、たびたび裏切られ、辛くても厳しくても、一人ですべてをやり切らなくてはならない状況に陥っていくのです。

このような場合、どのようにしてカルマを前倒しすることができるのでしょうか。まず、このような人生を一定期間送ることでカルマの解消は自然となされていきます。

カルマとして背負ってきたものは、若い時代には特に、その方のパーソナリティのように表れてきますから、幼少期から大人になるまでの間、「人とうまくいかない」「人から嫌われ仲間外れにされる」ということが起きます。

大人になってある程度うまくやれるようになってもやはり同じことが繰り返され、親友もできなければ、恋人との愛し愛される体験もなく、人生に嫌気がさす時期もあるでしょう。

「人にたびたび裏切られながら、だれにも頼れない状況を生き続けるのはもう嫌だ！ 私も親友が欲しい、すばらしいパートナーに恵まれない」。

そのような思いから、スピリチュアルな世界を探求し始める方も多いでしょう。そして、エネルギーワークやセッションを通じて、「なぜ自分がそうなのか」を、霊的な見地から知っていくことになるのです。

### **現代はさまざまなエネルギーツールが利用可能**

そこで行っていくのが、「1」の「魂側につく過去世カルマを徹底的に洗い流す」ことです。

これは、さまざまなエネルギーワークで取り去っていくことが可能です。たとえばヘミシンクを使った誘導瞑想、ヒプノセラピー、キネシオロジーなど、現代はこのようなエネルギーツールが多く用意されています。

カルマとカルマ的要素は、目に見えない領域にエネルギーとして格納されています。ここにアクセスをし、これらのエネルギーを洗い流していきます。

カルマ的要素は、厳密にいうとカルマそのものではなく、カルマのように働いてしまうネガティブエネルギーのことですから、こうしたエネルギーツールで取り去っていくことが可能です。

また同時に、カルマもできるだけ小さくしていくことができるのですが、

それはおおむね下記 2 点の手法からとなります。

1. 時空を超えて、その方の幼少期にアクセスする。そのとき、過去に  
粛々として行ってきたカルマを清算するような日々の記憶を書き換えていく。  
過去のあなたにカルマエネルギーを多く乗せることで、「今」に  
残されているカルマの量を少なくしていく。
2. 時空を超えて過去領域にアクセスし、その人のカルマの果たしに  
なりそうな出来事を、これまで生きてきた道筋に加えていくことで、  
「今」に残されているカルマの分量を減らしていく。

ということは、カルマ自体は、目に見えない領域に溜まるネガティブ  
エネルギーをリリースすることでは減らないということであり、だからこそ、  
ご自身の過去の行いが重要になってくるのです。

**過去にある程度のカルマを清算するような出来事を体験していなければ、  
カルマを前倒ししていくことは難しい、ということ。**

たとえば、お子さんのことを心配し、お子さんに小さな頃から  
エネルギーワークを行う親御さんがたまにいらっしゃいますが、この場合、  
エネルギーワークによってカルマ的要素を取り去ることができても、  
お子さん自身の体験が十分ではないため、持ち越してきたカルマを完全に

取り去ることは難しいと言えます。

ただ、幼少期のエネルギーワークによってカルマの解消を前倒しするよう設定することはできなくはありません。その場合は、若い頃に早くカルマを解消するような設定をする、ということになりますが、あまりおすすめできない理由が2点あります。

1. 未来の一時期に厚くカルマ体験を設定することは、一時的にせよカルマの重みが増すということでもあり、体験の過酷さが増す可能性がある。
2. 自由意思によって「自分の現実を創りたい」という気持ちの原動力になるカルマの果たし体験は、幼少期からティーンエイジャーに差し掛かる頃に自然に体験すべきであり、それによってその後体験すべき出来事が誘発される。

カルマは自分の魂の成長を促し、自分で立てた人生プランに沿って生きていくために必要なものでもあるため、持ち越してきたカルマそのものを、エネルギーワーク等で体験なしに取り去ることはできません。

多少なりとも体験を通じてカルマを解消していくことでしか、プラン変更に関わる「エネルギーワークで魂側につく過去世カルマを解消する」

ということではできないのだということをご理解ください。

### **時空を超えて過去にアクセスし、カルマ体験を書き換える**

子どもの頃からある程度の年齢に至るまで、自分で設定してきたカルマを通じて、魂を磨く体験をしたとします。そして、霊的な見地から自分のカルマについて知り、前倒しして解消しようとしています。

このとき、エネルギーワークで「過去の体験に上乘せする」のだと前述しました。これはどういうことかという、「過去の記憶を書き換える」ということをするのです。

目に見えないとある領域に、「過去の体験」が格納されています。その領域にアクセスすることができる、高次元のホワイトサイドの存在に依頼することで、その体験そのものを変えてしまうのです。

すると何が起きるかという、記憶が書き換わるのですが、当人はそれに気づくことができません。変わった記憶の地点から今この瞬間までがすべて同時に正されていくので、本人には初めからその記憶しかなかったように知覚されるためです。

ともあれ、そのようにして過去の体験に上乘せする形で、持ち越したカルマをできるだけ小さく小さくしていき、究極に小さくしたカルマを、最後に何らかのネガティブな体験を自分にさせることで、完全に抹消していきます。これを「カルマ落とし」と呼びます。

たとえば、お金のカルマを持ち越した人は、そのカルマ自体を小さくした上で、完全に抹消させていくにあたっての、代替行為（カルマ落とし）が起るでしょう。その残されたカルマ程度の大きさの金額を落としたり、失くしたり、無駄に使わされたりして、不本意に失うのです。

この体験がカルマ落としとなり、その人はそれ以降、お金に困るという状況から脱していきます。

さらに言えば、「その出来事があった場所」に赴くことで、そのカルマ落としは自然と発生していき、カルマは完全に抹消されていきます。

なぜ、その出来事があった場所に行く必要があるのでしょうか。実は、自分の肉体が、かつてネガティブな出来事があった場所に行くことで、それと同じ出来事が繰り返されるという不文律があるのです。

ですから、カルマが重く、なおかつその解消がまだなされていないときには、その場所に行くことでひどい出来事が起きてしまうことがあります。このようなとき、あなたを守る目に見えない存在の導きにより、その場所には

行かない（行けない）ようになっています。

ある程度のカルマの解消がなされ、カルマが十分小さくなったと判断された場合、カルマ落としのために、あなたを守る存在から導かれてその場所に行く、ということは実はよくあります。

冒頭で「諸外国よりも日本の過去世の方が解消しやすい」と申し上げたのはこのためです。日本に暮らしている方は、日本で起きた出来事で生じたカルマは、この地に肉体があるからこそ解消しやすいのだと理解してください。

日本国外で発生したカルマは、エネルギーワーク等でできるだけ小さくした後、その場所に旅行に行くなどして完全に抹消していくことが可能です。ですから、旅に頻繁に出かけるタイプの方が、過去世カルマは解消しやすくなります。

なお、過去世の体験が、肉体がそこに行くことで繰り返されるのは、ネガティブな体験だけでなく、ポジティブな体験も同じです。ですから、過去世で成功していた土地に住むことで、成功しやすくなるということもあり得ます。

またもう一点、補足的にお伝えしていきますが、「人殺しをさせるカルマのパターン」において、殺した側にもカルマが発生すると前述しました。

この場合、たとえ処刑だとしても、人を殺すというカルマを負った人は

どうなるのでしょうか。この人には、独自のカルマを果たす方法が与えられていきますが、処刑の実行者の場合は、通常は下記の 2 パターンとなることが多いです。

一つは、自分の子どもや配偶者など親しい人が殺される、またはそれに準ずるひどい目に遭い、自分自身も悲しみに暮れる、という体験をする。

もう一つはもう少し軽いカルマの果たしとなりますが、カルマが果たし終わるまで長い期間を要する、子どもや配偶者など近しい人が究極の困難に陥り、その大変さを背負って長年伴走することになるというものです。

「究極な困難」は人によって選ぶものがさまざまとはなりますが、生まれつき重い障害がある子どもが生まれる、人生の半ばで自身が身体的な重度の障害を抱える、あるいは何らかの事情で愛する家族と長期間会うことができなくなる、といったパターンが選択されることが多いです。

このような非常に重いカルマの場合、今世だけで解消が難しいこともあることを付け加えさせていただきます。

## はき違えのない意図の設定で人生プランを書き換える

「2」についてお話ししていきます。

まずは「1」に従って、カルマとカルマ的要素を取り去っていきます。

カルマ的要素は残されていてもかまいませんが、カルマ自体は完全に昇華させていく必要があります。

その上で、「自分はこんな人生を送りたいのだ」と決め、その意図を設定していくのです。このとき、本人は「意図した」と思い込んでいても、正しい意図がなされていない場合、人生プランは変更されません。

また、そのときの自分が本当にほしいものではなく、特にほしくないものを取り込んで、誤った意図を設定してしまう方も多いです。

ですから「自身の本心を知り」、「その意図を正しく設定する」ことが重要です。この時、通常の意識で考えてもわからないことが多いので、瞑想した状態で自分の内的意識にアクセスする、ということをしてみてください。

この時に利用できるのが、瞑想法の一つであるヘミシンクです。

ヘミシンクとは、1970年代にアメリカで開発された音声技術のこと。ヘッドフォンで右耳と左耳から異なる周波数の音を聴かせることで、脳をある一定の状態に導くというものです。このヘミシンクを利用することで、

深い瞑想状態が得られやすくなります。

瞑想状態に入ったところで、自分の内側に本当の気持ちが何であるのか聞いていきます。

そして、間違いのない、自分の本当の思いを知ったら、次に意図の設定をします。瞑想状態に入ったまま、コマンドを自分にかけていくのです。コマンドとは、アファメーションともいいますが、口に出して言い切ることです。

たとえば、このようなものです。

「私はもう、この先の人生でお金に困りません。もうお金に困り続ける人生から降ります。そして私は、自分のすばらしい資質を生かしながら、最大限に、また最速でお金を稼ぎます。残りの人生を、お金に困り続けるのではなく、お金によって愛と豊かさと自由を得るものへと変えていきます。今、私の人生のプランをこのように変更していきます」

このように言った後、あなたをサポートしてくれている目に見えない存在に念を押すようにお願いします。

「私をサポートしてくれている目に見えない存在に依頼します。今、私は〇〇のように意図を設定したので、この後の人生が今の自分の言葉によって正しく変わっていくように、万全のサポートをお願いします」

このような具合です。

## 人生プランの変更は何度でも可能

ここからは、補足的に残り2点についてお伝えしていきます。

3. あなたの意図の設定方法が間違っていた場合、どうなるのか
4. 誤って意図を設定していた場合、人生プランの再設定はできるか

これらに同時に答えていくことにします。

まず、意図の設定方法並びに、意図そのものが間違っていた場合、人生のプラン変更はそもそもなされません。

また、もし一度設定した意図を変えたいという場合や、カルマの解消が進み、人生プランをさらに変えたくなった場合も、プラン変更の再設定は可能です。

非常に多くの方が、「一度引き受けた人生は、被害者のようにただ引き受けて全うしていかななくてはならない」と誤解しているようですが、それは違います。

アセンションが進む現在の地球においては、そのようなことはありません。カルマをすべて放棄することはできないまでも、相当量の前倒しは可能です。そこから、あなたが「本当に生きたい人生」を生きる現実が始まるのです。

また同時に、あなたがそのような知識と力量をつけることで、カルマに囚われて苦しむ人生から多くの方を解放していくのです。

### **【まとめ】**

さまざまなエネルギーツールを利用しながら、カルマを前倒して終わらせ、カルマ的要素も取り去っていく。

その後、自分がどう生きたいのかを見定め、意図の設定を行っていくことで、思い通りの人生を生きていくことができるようになる。

## 第 9 章 目に見えない意識体たちの基礎知識と使いこなし方

### スピリットガイドはあなたの一部分

ここでは、あなたをサポートしてくれる、目に見えない意識体たちについてお話ししていきます。基本的には、この章でお伝えするのは下記 4 点、その後いくつかのことについて補足していきます。

1. あなたをサポートしてくれるスピリットガイドについて
2. あなたの肉体側から現れるガイドとしての先祖系ガイドについて
3. この二つ以外にあなたをサポートしてくれるガイド的な存在について
4. あなたが関わるべきではない、エネルギー的に関係のないガイド的な存在について

まず、「1」について。

スピリチュアルが好きな方であれば、ご自身にガイド存在がいることは、今やほとんどの方がご存知でしょう。この「ガイド」という概念は奥深いようで、

実はそれほどでもありません。

とてもシンプルに言ってしまえば、それは「あなた自身」であるということです。ここで言うスピリットガイドとは、あなたの魂側に紐づく、今世のサポーターですが、実際には、あなたの魂の分け御霊的な存在です。

話をややこしくしたくないので、もっと簡単な言い方をすると、あなたは今世、地球の人間界に現れています。あちら側の世界（あの世＝魂が紐づく元の世界）においては、あなたの集合体ともいえるべき、もっと大きな霊的な「あなたゾーン」があります。

今世、人間として現れているあなたは、その大きなあなたのほんの一部でしかありません。もっと大きな部分は、あちら側の世界にいて、あなたがこれまで行ってきたありとあらゆる体験を記憶の貯蔵庫に保管しています。

その一部分であるあなたは、一時的に切り離されて、今世、地球に降り立ち、そして肉体をいただいて「地球を生きる」という体験をさせられています。

そして、スピリットガイドこそ、そのようなあなたの集合体から、肉体を持たず、この世であなたをバックアップするために現れてきた、サポートメンバーなのです。

あなたは切り離されて、肉体の中に入ってしまったので、彼らよりもいくぶん周波数が低くなっています。彼らの大元はあちら側の世界にあり、

向こうの世界と紐づいたままであるため、さまざまなことを知っており、またあなたよりも周波数が高いです。すなわち、高い叡智を有し、霊的にも優れていると言えます。しかしながら、ガイドはあなたの魂そのものでもあるのです。

通常、人をサポートするスピリットガイドは一体だけではありません。成人になると、ガイドは一人につきおおよそ7～8体、多い人では10体がそれ以上になっていくこともあります。

スピリットガイドは、担当するカテゴリーごとに細分化されています。たとえば仕事をサポートするガイド、日常生活をサポートするガイド、女性性や家庭生活をサポートするガイド……といった具合です。

このように、それぞれのガイドの担当ははっきりと分かれていて、兼任することはありませんし、基本的には担当外のことに手出しすることはありません。

一方で、スピリットガイドを総まとめしたような存在としての、ハイヤーセルフという考え方もあります。

この場合は、実はスピリットガイドとハイヤーセルフにそれほどの違いはなくて、ハイヤーセルフタイプの方はパーソナリティややること、注目していることがそれほど分かれておらず、一つにまとまっている

人柄だと言えます。

対して、ガイドの数が多く人は、サポーターが多いというよりは、その人のパーソナリティや興味の範囲、受け持つことの種類が多いと考えた方がいいでしょう。

### **ガイドはすべてを教えてくれる都合のいい存在ではない**

ガイドは、人によって数が異なると言いましたが、その差とは、それぞれのガイドが受け持つ範囲の多さと量によって変わってくるということなのです。

ということは、ガイドの役割は明確で、その人の人生における必要なカテゴリーごとに担当が分かれており、その部分がきちんと進行していくのかを見守っていく、ということになります。

また、「ガイドはサポーター」であるとお話ししましたが、実際には必要以上に手出しをすることはありません。どっちに行ったらよいかを教えてくれるような、都合のいい存在ではないのです。

彼らの役割は、私たちが自分で決めたプランに従ってきちんと霊的成長を遂げているかを見届けることにあります。そのため、そのプランとあまりにも

かけ離れてしまいそうなおとときや、命の危険におよびそうなおとときのみ、  
助けてくれたり、情報を与えてくれたりします。

たとえば、必要な人とどうしても出会わなくてはならないのに、誤った方向に  
行ってすれ違ってしまいそうであるとか、左脳的な思考で行動しすぎて  
プランと大きく外れてしまいそう、などというときには軌道修正のための  
導きをすることもあります。

決めたプランに従ってさまざまな体験をし、霊的成長を遂げていくことは、  
私たちが生きる大きな目的の一つです。すべてを知っているガイドが  
必要以上に手出しをすることは、この目的を阻害することにもつながりますの  
で、過剰なサポートはしないのです。

また、ガイドはそれぞれ役割分担されていますが、すべてが並列では  
ありません。ガイドの中でも、その人の人生においてメインとなるカテゴリーを  
担当するガイドがメインガイドとなります。

私の場合はというと、仕事をするのが常に人生の中心にありますので、  
メインガイドは仕事や社会性を担当する存在であり、つねに社会性を  
帯びています。

スピリチュアルな仕事を始めてからは特に、社会性を帯びていながらも  
神ごとに関わる意識を持つガイドが現れるようになりました。

実際には、仕事を始めてから現れたのではなくて、私の知らない間に先にメインガイドの交代があり、それによってこのような仕事の方向へ導かれた、という方が正しいかもしれません。

私のかつてのメインガイドは男性であり、とても賢くスマートで、余計なことは一切言わず、必要なことだけをテキパキこなしていくような存在でした。

しかし、あるときから見える存在が変わってきたのです。はっきりと覚えているのは、あるとき突然、自分の頭の真上に、ニコニコと笑っている白い龍が見えたこと。そして同時に、今ならわかる（でも当時は本当か疑わしかった）、この仕事が人生そのものになっていくことを示唆するようなメッセージが頭の中に降り注ぎ始めたのです。

その時はまだ小さな編集プロダクションを運営しながら、本や雑誌の編集を行っていた頃だったので、今のようなチャネリングの能力は完全に開花していませんでした。

ですから、そのような体験が信じられるはずもありません。しかしながら、自分の考えのようで、でもそうではない言葉が確かに頭の中にシャワーのように降りてきて、思わずその言葉をメモしました。今から12年前、2011年のことです。

この頃から、急坂を駆け降りるように急加速的に、この世界への道が開かれていったのです。

その後、ガイドの手引きとしか思えないようなことが連続して起き始めました。私の霊性をさらに開いてくれ、現実的に手法を教えてくださいのような先人たちにも出会いました。

このように、ガイドは、私たちが決めてきた人生プランに従って、できるだけ時期を遅らせないようにというサポートも含めて、しかるべき時にしかるべきことが起きるよう、事前に現れ、導きを行ってくれるのです。

ここで注釈なのですが、生まれてから死ぬまでガイドが変わらない、という方はほとんどいません。まれに、もともと人類をサポートするために現れたタイプの方は、幼い頃からお役目を果たして死ぬまでの間、ガイドが変わらないことはありますが、これは一般的ではありません。

通常は、ガイドはその人の周波数の高さ（霊的成長）に合わせて変わっていきます。これは、出世魚のような考え方が正しくて、質そのものは変わらないけれど、状態が変わっていくのだと覚えておくといいでしょう。

また同時に、その人の人生の中で中心となる物事が変わるとき、メインガイドが入れ替わる、ということもあります。たとえば、これまで母として、妻としての生活が人生の中心だったけれども、働くことになり、

社会生活が中心になっていく、というような場合です。

このとき、それまでの家庭生活全般を担当するガイドから、キャリアを支えるガイドにメインガイドが交代します。それによって、その人の意識が家庭から社会に変化していき、それに合わせて現実も変化していきます。

補足的にお伝えをすると、女性系のガイドが多い方と男性系のガイドが多い方、というように人によって違うものですが、女性系のガイドが多い方は女性性が強く、女性的な生き方を好みます。男性系のガイドが多い方は男性性が強く、社会的に頭角を現していきたがるなど、男性的な人生となっていくやすいです。

特に、メインガイドの影響力が強いため、たとえば家庭生活から社会生活にシフトしていく場合、見えない世界では、ガイドが女性系から男性系に変わっていたということはよくあります。ちなみに、私のガイドはこれまでずっと男性のみでしたが、女性性をアップさせることを行っていった結果、女性系のガイドも現れるようになってきました。

これまで、女性系のガイドも私のサポーターチームにいたようなのですが、出番がなかったため奥の方に控えていて、役割が現れてきたので、私が知覚できるレベルまで出てくるようになった、という説明が正しいようです。

## ガイドが封印されて働けないパターンとは

ここからは、ガイドが働けなくなっているパターンについてお話ししていきます。実際、すべての方のガイドが正常に働いているわけではなくて、ある特定の状況下においては、ガイドが封印されて役立たなくされている、ということはあるのです。

これは、おおむね以下二つのパターンとなります。

一つは、もともと魔界系の闇の存在との契約が断ち切れないうまま生まれてきてしまった方。このような方は、ダークサイドからのしつこい横やりにも悩まされやすく、ガイドがその攻撃によって役立たないようにされてしまいがちです。

たとえば、その昔、過去世において誤った稲荷信仰をしてしまったため、いまだに狐の存在が現れて、その方のガイドより優位性高く働いてしまう、というような場合です。狐に限らず、目に見えない世界にはさまざまな魔界系の存在はいますから、このようなパターンには注意が必要です。

もう一つは、闇の契約が今世、誰かに恨まれたせいで発動してしまうパターン。簡単に言えば、今世、今生きている自分に黒魔術等がかけられ、ガイドが使えないようにされてしまうということです。

たとえばバリや中南米、アフリカなど、とある特殊な地においては、いまだにシャーマンがその土地の闇の存在とつながりながら、黒魔術のようなものを使用していることはよくあります。

今世、このような黒魔術をかけられてしまった場合、ガイドが元通りの状態に戻っていくのはとても難しいです。通常、魔術は解けないように工夫されているからです。

簡単に解けるようなものならば、むしろ効きが甘くて、かけた人に跳ね返っていってしまいます。そうならないように、土地の有力存在との契約を存分に利用しながら、さまざまな手法を用いて念入りにかけることが当たり前であったため、呪術にかけていることにまず気づけないのです。

補足的に、このような闇の存在からの封印以外で、ガイドが動きにくくなる、以下の二パターンがあります。しかし、これらの数はそう多くなく、レアケースだと言えます。

一つは、宇宙存在からの憑依。もう一つは、動物霊などコントロールの効きにくい死霊や悪霊悪鬼の餌食になってしまうパターンです。

宇宙存在は通常、地球ルールに従って動かなくてはならない不文律がありますが、アセンションが進む昨今の地球においては目に見えない領域がさまざまに変わり始めています。そのため、地球の管理官の目を盗むようにして、

中途半端な宇宙存在が入り込んで、ルールに従わない勝手な振る舞いをするが増えているのです。

そうした宇宙存在はたいていエネルギーレベルが高く、さまざまな次元とつながることができるので、ガイドよりヒエラルキーが高いことがほとんどです。そのため、ネガティブな宇宙存在の憑依に遭う場合も、ガイドは力を発揮できなくなってしまうのです。

動物霊をはじめとした死霊や悪霊悪鬼の場合、そもそも言葉が通じない、コミュニケーションが取りづらい存在ですので、追い払っても追い払ってもそのような存在がやってきて、ネガティブエネルギーが降り積もった状態になると、ガイドがやむを得ずそこから退くしかない、という状態になってしまうのです。

これらのパターンでガイドが働けなくなると、どうなるのでしょうか。

ガイドが不在ですから、その方が決めてきた人生プラン通りに生きることができない、ということが起きてきます。

私たちは通常、内的意識に従っていけば、自分で決めてきた人生プラン通りに生きていくことができます。しかしながら、左脳的思考が勝りすぎるとき、内的意識を無視して頭で考えてばかりいると、人生プランとはまったく違った方向に行くことがあります。このとき、ガイドがしっかりと働ける状態に

なっていれば、完全に間違っただけにいかないようなサポートが入り、いつの間にか軌道修正がなされていきます。

しかし、ガイドが不在の場合はそうはいきません。無軌道に、人生プランとかけ離れた道を延々と歩いてしまう人もいますし、特に宇宙存在の憑依に遭ってしまうと、彼らが人の肉体を借りてやりたいことをただやりつくすための道具にされてしまったりもします。

このようなとき、唯一抜け出す方法は、魂側につくスピリットガイドが使えない状態となっているとしたら、肉体側につく先祖系ガイドをたくましく、また応援団の数を多くしていくしかありません。これについては、次の項目で詳しくお話ししていきます。

なお、ここでお話を進めてきた魂側につくスピリットガイドについては動画の方でも詳しくお話ししていますので、併せてご覧ください。

## **先祖系ガイドがいる人といない人がいる**

「2」について解説していきます。

私たちにつくガイドは、実際、魂側に紐づくスピリットガイドたちだけでは

ありません。肉体側からくる応援団としての、先祖系ガイドというものが  
あります。

これについては、動画の方でも詳しくお話ししていますので、併せて  
ご覧いただき、ぜひ理解を深めてください。

なぜなら、すべての人に覚えていてほしいこととして、肉体を持つ活動の  
ほとんどすべては、彼ら、肉体側に紐づく先祖系ガイドたちによって  
行われていくからです。先祖系ガイドの数をどれほど増やすか、またその状態を  
どれほど良くしていくかが、私たちの肉体としての人生の向上に  
つながるのです。

しかしながら、多くの方が誤解をしているのは、「先祖はガイドにはならない」  
ということ。あるいは、「先祖なんていない。そんなことに振り回されるのは  
バカバカしい」とすら思っている方も、現代には多いのです。

そうではないのです。私たちは、肉体を通じてこの地球でのすべての活動を行  
っていきますので、肉体側からくる振動を無視することはできません。  
この場合の「振動」とは、すなわち、肉体側に伝わってくる先祖たちからの  
エネルギー情報ということです。

ここで扱っていくのは、霊的に非常に高まっていて、神的意識体のように  
働ける先祖系ガイドについてとなりますが、実際には、ご先祖さまは

そのすべてがガイドとして働けるほど大きくも高くもありません。

ですから、人によっては、先祖系ガイドそのものがいなくて、むしろ先祖は面倒ごとを子孫に起こしてくるばかりだ、というパターンもあります。

ですから、私は高次元の存在の導きに従って、肉体の人生を良くしていきたいなら先祖供養を進めなさい、ということで、先んじて先祖供養に関する動画&テキストブックを発売させていただいています。まだお読みでない方がいらっしゃいましたら、そちらも併せてご覧いただくと、ご先祖さまについての理解が深まるでしょう。

ここで扱っていくのは、肉体側から紐づく、非常に靈的に進化した存在としての先祖系ガイドについてです。

通常、レベルの高い家系には、非常に靈格の高い先祖系ガイドが3体以上いて、とある人というよりも、家系全体を大きくサポートしていきます。すると、その家系は栄えていくのです。

たとえば、医者一族、官僚などお役人ばかりの家系、親族のほとんどが東大、京大をはじめとした優秀な大学の出身である、などがこの典型です。また、一代で巨額の富を築いた経営者の背後にも、非常に大きなことができるパワフルな先祖系ガイドがついていることが多いです。

しかしながら、このように極端な例でなくとも、そこそこのご家系ならば、

たいてい先祖系ガイドは家系と個人とに分かれて、その家や子孫を守るためについてくれています。

私の場合、非常にベーシックな、日本の中流家庭そのもの、というような家柄ですが、実際、母方の出自は悪くなく、徳川系の家臣の家臣、という武士が多い家系です。

私自身がまったく意識していない頃から先祖はガイドとして幾人かがしっかり働いてくれていたようで、いとこや親せきはみな、そこそこ優秀です。東大、京大とはいわずとも、そのワンランク下の私大を出て、大手企業に就職し、みな年頃で結婚して子どもをもうけ、郊外に一戸建ての家を建てて暮らしています。

叔父叔母は（私の母も含めてですが）みな健康で病気もせず、若い頃にしっかりと働き年金も納めていたおかげで、夫婦仲よく悠々自適の老後生活を送っています。

これらは、先祖系ガイドが家系ごとしっかり守っているような家の、典型パターンともいえます。

しかしながら、たとえ生家（自分の生まれた家）が良くても、結婚したとたんに婚家（嫁ぎ先の家）の先祖の影響を受け始め、人生が格下げされることは非常によくあります。

たとえば、結婚したとたんに生活レベルが下がるような出来事が起きるとか、病気や怪我など肉体的不調和が起き始める、といったことがこれにあたります。ですから、結婚は本当に気をつけた方がよいのです。

### **先祖系ガイドが増えると横やりに遭いにくくなる**

個人を守る先祖系ガイドについて触れる前に、先祖供養を行っていくとなぜ先祖がガイドになれるほどその状態が良くなっていくか、ということについてお話ししていきましょう。

その仕組みは実はとても簡単で、みなさまの意識が先祖に流れ始めると、その意識の源は集合無意識ゾーンにありますので、その源からネガティブな意識が上がってくることを防げるようになるのです。すなわち、他者からのネガティブな横やりに遭いにくくなってくるともいえるのです。

しかし、通常はこのような仕組みにおいて、先祖はガイド的な働きができるようになってくるものですが、そうならない家系もあるのです。私を例に挙げながら解説していきます。

たとえば、私は先祖系ガイドを二人ないしは三人持っていますが、その存在は、

母方の祖母と、母方の父方の先祖、そしてもう一体も母方です。残念ながら父方の存在は、いまだガイドになれるほど大きくエネルギー的に育っていません。

この時、私が先祖系ガイドを育てていくために何をしたらいいのかは明確で、ご先祖供養です。しかしながら、いくら先祖供養をしてもガイドが育たない家系があります。まさに私の父方の家系がそうなのですが、なぜなら、たくさんの強力な呪術と呪いにかけているからです。

そのような家系は、まず先祖系の呪術と呪いを解かなくてはなりません。

通常、先祖系の呪いは私たちの肉体を通じて、私たちの意識のように働くものですが、家系がすこぶるよかったり、先祖が拝み屋や祈祷師のようなことばかりしていた場合、また他家や他者から嫌われたり、羨まれたり、恨まれていたりすると、肉体を通じて私たちにその影響が出るだけでなく、大事な先祖が封印され、家系を守るガイドになれない、ということが起きてくるのです。

このとき、先ほど「先祖供養をすると集合無意識ゾーンにエネルギーが送られて、他者からのネガティブな意識をブロックできる」と言いましたが、これができない状態ともなります。ということは、他者からの、いわゆるサイキックアタックのような出来事を退けにくくなるのです。

つまり、ここで何を言いたいかという、単純な先祖供養だけでは先祖系ガイドが育っていかない家系も多くあるということ。そのような場合、その家は他家よりもヒエラルキーが低くなります。

すると家柄も低くなり、面倒ごとを押し付けられたり、社会的に地位の高くない仕事をあてがわれていき、働いても一向に暮らしが楽にならないとか、よい結婚ができないということが起きてくるのです。

ここで注釈ですが、そのような家系においては、やはり通常の先祖供養を行うだけでなく、呪術解除や呪いの解放を行っていく必要があります。

### **先祖系ガイドが受け持つのは現実的な生活全般**

ここからは先祖系ガイドの役割や子孫を守る典型的なパターンについてお話ししていきます。

先祖系ガイドの役割は、その受け持つ子孫に対してまともな社会性を与えていくことにあります。しっかり働き、きちんとした仕事を通じて社会性を身に着ける。さらには、そこから良き人間関係を取り込み、バランスの取れた人間的な生活をその子孫にもたらしていきます。

その中でも顕著なのが、しかるべき時に、しかるべき相手と結婚させることです。子孫繁栄は先祖のたつての願いでもありますから、子どもをもうけるためのサポートもしていきます。

そのようにして社会的に正しい立ち位置を得られるようにサポートしていくことが先祖系ガイドの役割なのです。

しかしながら、通常は先祖系ガイドが単一で働くことはまれで、ほとんどはスピリットガイドと協業しながら役割をこなしていきます。肉体に関わるサポートは先祖系ガイドが、魂の質の向上に関わる部分はスピリットガイドが受け持つのだと覚えておくといいでしょう。

そしてここからは、「1」の最後にお伝えした、スピリットガイドが封印されて働けなくなっているパターンについて、お話ししていきます。

このような場合、ひたすらに先祖供養を進めていくことで、先祖系ガイドの数を増やしていくことが必要となります。もちろん、その質も高めていけるとなおよいでしょう。

通常、その人に対して働けるガイドには優位性があり、優位性が一番高いのは先祖系ガイドなのです。なぜなら、肉体を持って初めて地球での体験が始まっていくからです。

ですから、ネガティブな存在を退けるとき、また彼らに

邪魔されたくないならば、先祖供養を行うこと。先祖系ガイドの数を増やしながら、彼らの霊格を高めてパワーアップさせていくとよいのです。ネガティブな意識体たちからの横やりを防ぐにはそれしかありません。

次は、ヒーラーを目指すみなさまにとって、真に必要な情報となる、より高い存在に関わる話をしていきましょう。

### **あなたの系列の、より次元の高い存在たちを使いこなす**

「3」についてお話ししていきます。

ここでお話しするのは、ヒーラーを目指すみなさまをサポートしてくれる、より意識レベル（次元とも言います）の高い存在についてです。

通常、人には個人的にスピリットガイドが7～8体はついているとお話ししました。ハイヤーセルフも含めて、それらの存在は、その人そのものであると言えます。

しかしながら、ここで扱っていくのは、それ以上の存在であり、しかしあなたの魂とも紐づく、よりハイパワーなレベルの高いあなたとつながるガイド、ということになります。

肉体を持ったあなたは、現実的な個人生活を抱えながら生きています。  
あなたのスピリットガイドたちは、おおむね、そのような部分をサポートしていきます。

しかしながら、あなたが霊的な成長を遂げ、ある一定の周波数を超えると、ご自身の人生に社会とかかわる「社会的意義」が生まれてきます。個人生活における悩みや問題を解消していく人生は終わりを告げ、次に現れてくるのは、大勢の人の役に立っていく人生です。

ここで扱っていく、「あなたの一部分であるけれども、もっと大いなる存在と紐づけられていくハイパワースピリットガイド」こそ、そのような部分をサポートするために新しく現れてくる導き手なのです。

厳密に言うとあなた自身そのものではないけれど、あなたが所属しているグループソウル全体を導くような、非常に次元が高く、レベルの高いことを（この現実社会で）扱っていく存在たち、それがここでいう「スーパースピリットガイド」ということです。

実際には「スーパースピリットガイド」というのは大げさすぎて、言葉のイメージに囚われてしまう方も多いかもかもしれませんので、別の言い方をします。それこそが、個を超えた大勢をサポートしていく、「源」により近い存在たちであり、すなわち、観音やミカエル、マリア、

イエス・キリストたちとも言える、高い存在であるということです。

ここでは、教科書めいた話はやめにしておきたいと彼らが言いますので、できるだけ平たい言葉を使っていきます。

あちら側の世界には、あなたのトータルセルフと呼べる、エネルギー的なあなたの集合体があります。そして、そこから現れてくるのが、あなたの一部分であるスピリットガイドです。

しかしながら、あちら側の世界には、あなたの集合体の、もっと大きな集合体があるのです。いわゆる、グループソウル集団です。このクラスターは、次元が高くなればなるほど大きくなり、つながっていきます。そして、この世の多くの人々が「アセンデッドマスター」と呼ぶような存在たちが、このスーパークラスターをサポートする存在としてついているのです。

通常、このように大きな存在は切り分けられておらず、ワンネスの意識に近い状態で、他と協業しながら一つの意識のように働いていきます。ですから、実際には「観音」、「キリスト」、「ミカエル」などと名前をつけるのはおかしいほど、彼らは集合意識として一体化しています。

しかしながら、この集合体が次元を降りて来ると、徐々に個の状態になっていきますので、固有の気質が表れます。そのような意味合いにおいて、系列といえるものが表れてくるのです。

その存在のエネルギーの質によって、「あなたはミカエルライン」、  
「あなたはキリストライン」、「あなたはマリアライン」にそれぞれ  
つながっている、と説明することができます。

ちなみに、私のラインはやはり大天使族のラインで（ということは、これを  
読んでくださっているみなさまもそうだとということ）、特に男性性が高く  
戦う意識を持った、ミカエルを筆頭とした、何人かのスーパースピリットガイド  
たちが働いてくれています。

このような高次元の存在（非常に多くの人を同時にサポートできる存在）と  
正しくつながっていくことこそ、ヒーラーとしての正しい道が  
開かれていくことを表しているのです。

私はまだ道半ばですが、さらに周波数を上げる訓練をひたすらに  
行っていくと、さらに彼らの集合体ともいえるような、より高い存在に  
導かれていくようです。これは、周波数を上げていけばいくほど、自分自身の  
つながりの中で高い存在が現れてくれるという、宇宙ルールに則った話なので、  
特段すごいとか偉いという話ではありません。

さらに言えば、このようなレベルの存在に導かれなければ、ヒーラーの仕事は  
うまくいきません。高次元のサポート存在を通じてエネルギーを流したり  
時空間を超えた領域とアクセスしていきますから、高い存在のサポートを

得ることはとても重要なのです。

その存在の意識レベル（次元）が高ければ高いほど、高いものの見方ができるものですし、また危険をあらかじめキャッチし、宇宙ルールや地球ルールを阻害しない形で私たちを助けてくれるようにもなります。

そのような存在と自在にアクセスできるようになるまでは、長い道のりかもしれません。しかしながら、粛々と周波数を上げる訓練を怠らずに行っていくことで、誰もが到達できる道なのです。

それでは、次の項目では、このような「自分の系譜」とは違う神の司りを許さないほうがよい、という、注意についてお話をしていきたいと思います。

### **不用意に神さまのお使いをしないほうがよい**

「4」について。

まず、ここでお伝えをしたい概念について、もう一度お話ししていきます。それは「あなたはあなたの系列の神的存在とだけつながるべきであり、自分の系列ではない存在からの介入を許すべきではない」ということです。

たとえば、私たちが「神さまだ」、「高い次元の存在だ」と理解する存在は、

どれくらいいるのでしょうか。

さほど高くないにせよ、天狗や狐や狼や、おおよそ、神社の眷属として知られているような存在も含めて、本当にたくさんの神的存在はいます。特に、八百万の神信仰のある日本には、細分化された土地神さまの意識も多くあり、複雑な大和神界の状況はあります。

さらに言えば、神的存在だけでなく、宇宙的な存在で神さまのように私たちが知覚していく存在もいます。川には川の神さまが、海には海の神さまがいるように、宇宙空間という、ここでもどこでもない場所には、ポータルを辿ってさまざまな宇宙意識体たちが行き来をしているものです。

このような存在たちには、良いとも悪いともいえないような存在が多くいて、そのほとんどは、とある一定の「意図」によって動いています。その意図はさまざまであって、たとえば、海を掃除したがつているような海の存在もいれば、川で溺れる人を少なくしたい川の守り神もいる、という具合です。

宇宙存在であれば、地球の破れ目から侵入したような存在がいるかと思えば、地球にさまざまな探査機を送りこんでくるような存在もいます。

彼らの意図は彼らのものだけであり、それが良くても悪くても、その意図と関係のない私たちが彼らの手先となって働く必要はないということなのです。

さらに言えば、そのような存在たちは、非常に気軽に私たちに依頼してきます。

その対価は非常に少ないか、無償であることも多いです。逆に言えば、高い何らかの対価を支払うと言ってくるような存在こそ、ダークサイドであると言えて、これは本当に危険なのです。

私たちの世界になぞらえて、その構図を解説していきましょう。

たとえば、郵便屋さんが来て「あなたの郵便物ではないけれど、これを〇〇さんに届けてほしい」と言います。「それをしてくれたら、アルバイト代として5000円を出す」というので、暇だったあなたはよろこんでそれをします。

すると、また暇なときに郵便屋さんが来て「今度は1万円出すから、これを届けて欲しい」と言います。あなたはまたよろこんでそれをする。それが繰り返されていくうちに、あなたは大金持ちになっていくのです。

しかしながら、あるときまた郵便屋さんが来て、あなたが忙しくてやりたいことが山積みの時に、「これをお願いしたい」と言ってくる。あなたが「今は忙しくてやれない」と断ると、「ああそうか。なら、もう二度とお前に仕事は頼まない」と言うのです。

あなたは驚いて「暇な時ならよろこんでやりたいのですが」と言うものの、もう後の祭り。その郵便屋さんは二度と来なくなり、あなたは一時的に大金持ちになったけれども、すべてを失って涙に暮れる……

これが、わかりやすいダークサイト存在との構図です。このようにして、彼らは、最初は美味しい餌をやすやすとくれる。そして、もうその美味しさから抜け出せないようにした後、無理難題を言ってきたり、自分たちの意図に沿って無理やり働かせたりするのです。

ですから、ダークサイドのこのような手腕に絶対に乗せられないことが大事です。実際には、政財界や芸能界など、多くの人のエゴがぶつかり合う場所に彼らは多くいます。また、ホワイトサイドのお役目をすべき人も狙われやすいので、注意が必要です。

では、ダークサイドでなければいいかと言うと、そんなことはありません。神さまや神的存在はそんなに悪いことをしないと思うでしょう。悪いか悪くないかは置いておいて、結局彼らは自分の意図を成し遂げたい。そしてそれが、肉体を持った人間でないとできないこととなると、常にそれを理解してくれて、自分のために働いてくれるような人間を探しているのです。

もともとサイキックセンサーが備わっており、なおかつ周波数の訓練をし続けてサイキックが開きかけている人を彼らは好みます。なぜなら、自分たちの存在に気づいてくれて、しかも言うことをよく聞いてくれるから。周波数が中途半端に高くなると、このようなことが頻繁に起きてきやすいので、本当に注意が必要です。生半可な気持ちで、神さまのお手伝いを始めないこと。

神さまや神的存在だけれど、あなたの系列ではない（つまりはあなたそのものではない）存在と不用意にかかわるようになってしまうと、とても厄介です。なぜなら、あなたにはあなたのプランがあり、それはあなたの精神的成長と紐づいている何らかの、今世成すべきことだから。

しかし、彼らの意図に沿って働かされているうちに、自分が本来すべきことがおろそかになり、そもそも地球に生まれてきた意味さえ見失っていくようなことも実際にあるのです。ですから、あなたのプランと関係のない、ご自身の系列ではない神的存在とは関わらないこと。一時的にせよ、神さまのお使いのようなことはしないほうが身のためです。

さて、ここまで書いてきましたが、本章を締めくくるにあたって、みなさまの覚悟をお聞きします。このような、目に見えない世界には危険がいっぱいなのですが、それでも、やる覚悟はありますか？ また、やることに恐れや複雑な思いが湧き上がってくるのでしょうか？

次の章では、恐れやエゴを利用しながら、ダークサイドたちが、私たちが本来の役目としての神ごとをできないように狙ってくるパターンについて、詳しくお話ししていきます。この章と併せて、じっくり読み、そしてご自身の覚悟を固めていただけると幸いです。

## 【まとめ】

目に見えない存在が非常に多くいるこの地球においては、彼らへの造詣を深め、正しい協業状態を作っていくことが大事。

自分の系列を知ること、それ以外の存在と不用意にかかわらないように注意。

## 第 10 章 ダークサイドの退け方

### ダークサイドは外宇宙からやってきた

この章では、ダークサイドについてお話ししていきます。

しかしながら、ダークサイドと一口に言ってもその定義から出自、どのように作用するかなど、非常に多岐に渡り、すべてを網羅することは難しいため、ここでは下記 2 点に焦点を当ててお伝えしていきます。

1. ダークサイドとは？ その出自と目的
2. ヒーラーを目指すあなたに影響する出来事と、その退け方

本テキストの本来の目的とは、以下 4 点となりますから、これも併せて解説していくこととします。

1. ヒーラーのお役目がある方に、安心安全な形でその使命を全うして  
いただきたい
2. ヒーラーのお仕事の大変さについて、理解を深めていただきたい

3. ヒーラーの仕事はハードであるものの、楽しくもある。これについて

期待と希望を示したい

4. 生きる楽しさを知っていただきたい

まず、「1」について。

ダークサイドはどこからやってきたのでしょうか。ダークサイドは外宇宙からやってきた外来種といえますが、では「外宇宙」とは何を指すのでしょうか。実は私たちがいるこの宇宙の外側に別の宇宙が存在し、宇宙物理学においてもマルチバース（多元宇宙論）について多くの物理学者によって研究が進められていて、実際にその存在が示唆されています。

ダークサイドたちは、外宇宙からこの内宇宙に入り込んだのです。では、彼らは一体何をしたいのでしょうか。答えは、宇宙全体のアセンションを遅らせたい、ということ。ワンネスの状態など永遠に表れないほうがよいと思っているのです。

ここで言うワンネスとは、以下を指します。

「私たちは創造主たる『一つなるもの』から分化した光の存在であり、この光の粒子の一粒一粒がより大きなかたまりとなり、やがて一つに戻っていくこと」

つまりアセンションとは、みながワンネスの状態に戻っていくことそのものを指すのです。もっとわかりやすく言えば、みなが分け隔てなくなること、人と垣根を作らずおたがいをサポートし合うことが当然であるという意識そのものです。

しかしながら彼らは、そのような意識は邪魔であり、ワンネスの状態などいらないと思っています。ワンネスの「みなが協業し合う世界」が創られると、彼らは困るのです。理不尽さがあることが当たり前の、周波数の低い地球であり続けてほしいのです。

実はダークサイドたちは、この内宇宙を、あるいは地球を、彼らの植民地のような場所にしたいのです。ここで自分たち優位の世界を創り続け、外宇宙から来た存在だからこそできる高い能力を使って甘い汁を吸い続けたい。それができると信じ込んでもいるのです。

ここで注釈ですが、「外宇宙」は一つだけではありません。マルチバースの宇宙空間があそこにもここにも存在していると言ってもいいほど外宇宙は果てしなく広く、無数に存在します。ですから、外宇宙の存在＝ダークサイドではありません。

外宇宙には、内宇宙にいる高次元の存在たちよりも、より進化した高度な意識を持つホワイトサイドの存在たちも多くいます。しかしながら、

多次元宇宙のほとんどは、現在の地球がある内宇宙とは次元が違いすぎるため、その多くは把握が不可能だと付け加えておきましょう。

### **かつてあった宇宙戦争の鑄型が地球に引き継がれている**

ダークサイドは外宇宙の存在であり、その次元はすこぶる高く、内宇宙におけるワンネスの状態を阻止したいのだとお話ししました。ではなぜ、彼らは内宇宙の、この地球領域に入り込んでしまったのでしょうか。

その理由の一つが、その昔、地球の近傍でたびたび起こった宇宙戦争です。

その宇宙戦争はいまだ決着を見ていないとも言えます。

「ダークサイドと、ホワイトサイドも含む多種類の宇宙意識体たちを交えて行われた宇宙戦争では、負けてはいないが一時的に退散したダークサイドたちと、勝ってはいないがこれ以上もう戦いたくはないホワイトサイドの存在とで、延々と追いかけてこのような様相が続いた結果、地球エリアに迷い込んでしまった」、このような言い方が一番近いかもしれません。

結局は、宇宙での戦いの鑄型が、地球にもたらされているということなのです。

だからこそ、ダークサイドたちはホワイトサイドたちを執拗に狙い続けますし、ホワイトサイドに勝利させるわけにはいかないのです。血なまぐさい凄惨な報復があちこちでたびたび起きています。

その結果、私たちが地球で生まれ変わりを果たすたびに彼らに追われ、狙われるという状況を引き起こし、そのときの記憶や傷が、今世私たちにも影響し続けています。それがゆえに、地球でのカルマは山積みとなり、なかなか輪廻転生の渦から逃れられずにもがく……となりやすいのです。

### **ダークサイドに追われるタイプとダークサイドを追いかけるタイプがいる**

ここからは「2」についてお話ししていきたいのですが、その前に補足的に以下のことを加えていきます。

1. あなたはダークサイドに追われる側なのか、それとも追いかける目的で地球エリアに入ったのか
2. あなたが生きる主たる目的を忘れたまま生きているとしたら、ダークサイドたちにかなりやられてしまっている可能性が高い

この2点は、実はこれまで語られてこなかった話題でもありますが、やはりヒーラーを目指すみなさま方においては必要な情報なので、「2」に交えてお話をしていきます。

ここで扱っていくのは、「なぜ、あなたはダークサイドに狙われやすいのか」という話になっていきますが、そもそも、ダークサイドという概念がすっぽりと頭から抜け落ちている方も多く、その横やりに遭い続けてきたという感覚が一切ないという方もいるでしょう。

ですから、ここで改めてお話をしていきます。それは「**ホワイトサイドのお役目ありきの方ほどダークサイドに狙われやすいのだ**」ということ。

もしあなたが、お役目ありきで地球に生まれてきた、サイキックヒーラータイプのホワイトサイドだとしたら、間違いなく、幼少の頃から狙われていきます。

そのサイキックが開花しないようにとか、開花させるよりもなによりも、人生全般がダメな方向に行くように、たとえば自己肯定感を低くするような教育や、いじめや仲間外れ、両親からの間違っただけの刷り込み、厳しすぎるしつけなどを通じて。

彼らは自分自身で核心を突くような行動を取らないため、おおむね

その攻撃のほとんどは、先祖が狙われていくのです。

ダークサイドがどうやって先ほど言った状態を作るのか。実は、非常にレベルの高いダークサイドたちは、やすやすと時空を超え、あなたが生まれるよりはるか以前の過去にさかのぼって、先祖として生まれることができるのです。そこで問題を起こして、その悪影響が末端の子孫としてのあなたにおよぶようにするのです。

実際、人生をうまくいかになくさせるネガティブブロックは、先祖から引き継ぐ影響がもっとも取れづらいです。生まれた瞬間から、あたかもあなたのパーソナリティであるかのように作用していくので、先祖的影響なのかどうか見分けづらく、またそのような性質が直るとも普通は思いません。ですから、それはそのままに捨て置かれていき、その性質ゆえ、人生に困っていくのです。

また、先祖的な悪影響はあなただけに引き継がれるわけではなく、あなたの両親や兄弟姉妹にも表れます。そのため、誤った教育や否定的なしつけをされることも多くあり、それによって大人になっても癒えない傷を潜在意識に抱えながら生きることにもなりがちです。

## 能力が開花しないように幼いころから狙われていく

ここからは、先ほど挙げた点についても触れていきます。

あなたは、ダークサイドに追われて地球に入り込んできたのでしょうか、それともダークサイドを追いかけてきたのでしょうか。実は、同じホワイトサイドでも、このどちらであるかによって、その方の人生の選び方も生き方も、持ち越す恐れのパターンも大きく変わってきます。

まず、追われて地球エリアに入ってきたホワイトサイドの方。あなたは、実際にはダークサイドには興味も持たず、また特段意識することもなくこれまでの人生を生きてこられたことでしょう。なぜなら、彼らに追われていることに気づいていないから。

この地球領域の一つの特徴として、生まれる前の記憶をすべて忘れさせられてしまいます。そのため、何も覚えていないのです。しかしダークサイドたちは確実にあなたを追い詰めようとしています。

追い詰めて、彼らは何をしたいのでしょうか。特段何をするわけでもないようで、実は未来世に向かってあなたがババを引き続けるように情報操作を行うのですが、その情報操作のほとんどは、あなたが取るに足らない単なる一般人以下である、という刷り込みが中心です。

「おまえは大した人間ではない。人より優れているわけではないから、必要十分なことだけしている」という具合です。そのような情報操作の中でもっとも厄介なのは、その人にそこそこ良いものを持たせ、それで満足するように仕向けていくということ。

お役目タイプのホワイトサイドの方は宇宙由来の魂ですから、その力量はそもそも地球由来の魂の方よりはるかに大きい。さらに、パワフルなホワイトサイドの特徴として人柄が非常によく、心が広いということもあり、周囲からの信頼を得られやすく、人気も高いのです。

ということは、そのような人はダークサイドたちの横やりにさえ遭わなければ、もっと成功して世に知られた人になっている可能性が高いのです。しかし、中の上、あるいは上の下くらいの「良きもの」を得て、それだけで「自分は恵まれている方だ」と納得していく、そのような人生観を持たされてしまうのです。

すると、疑問を持たないので、自分が実際にはもっと大きなことができるとか、たくさんの仲間たちを導くために高い知性と才能を持って生まれたことにも気づけなくなってしまうのです。

その後、その人が人生を終えてあちらの世界に還っていくと、そこで初めて気づくのです。「そうだ、自分はたくさんの人たちを教え導くために今世は

生まれたのだった」と。

そして、そのときの世で役目を果たしていない場合、未来世ですべきことをする権利が得られない。そのため、もう一度同じお題を与えられ、今度こそ役目を果たすべく、再び生まれ変わることになるのです。

実はこのように、延々と同じテーマ、同じような年代、同じようなカルマの形態を持たされて、ただ足踏みを繰り返すようにぐるぐると同じ生まれ変わりを繰り返しているようなホワイトサイドは多くいるのです。

そして、追ってきたダークサイドたちはそのようなホワイトサイドを見て「しめしめ」と思うのです。しめしめと思うだけでなく、彼らはその状態が永遠に続くようにと、さらなる呪いや呪術をその人にかけていきます。

それはあたかも、同じアイデンティティで凝り固まったところにシリコンでコーティングしていくようなもの。結局、間違いにも問題にも気づけないまま、ひたすら同じタイプの生まれ変わりを繰り返すようになってしまうのです。

対処法については、「ダークサイドを追いかけて地球エリアに入ったホワイトサイド」と同じなので、最後にお伝えしていきます。

## ダークサイドとガチンコ一本勝負になりがちなタイプ

では、「追いかけて地球に入ったタイプ」はどのようになっていくのでしょうか。このタイプの方は、「ダークサイドバスター」とも言えて、お役目に早期の頃から覚醒していくか、自分にヒーラーとしての役目があると認識はしていなくとも「何かやらなくてはいけない」と焦燥感に駆られるようになります。

しかしながら、自分では何もわからないよう、すべて忘れてこの世に生まれてきているので、なぜ自分がこれほどまでに世間に役立とうとするのか、社会性を伸ばそうともがくのか、よくわからない、となりがちです。

しかし、それこそが「ダークサイドバスター」の性でもあります。力をつけて自分を世に出していくことで、ダークサイドの被害に遭う人を一人でも減らし、またダークサイドたちを捕まえて、この世に悪影響をおよぼさないようにする。記憶はなくとも魂が覚えているからこそ、何者かになろうともがくのです。

このタイプの方は、ダークサイドの横やりには遭いやすいというよりは、「一本勝負！」となりやすく、ガチンコでダークサイドとやり合ってしまう、負けて命を落とし、早期に地球を去る……ということが起こりやすいのです。

実は、このどちらのタイプもヒーラー予備軍に多いパターンです。

今このテキストを読んでくださっている方も身に覚えがあるのではないのでしょうか。

また、ヒーラーの魂を持つホワイトサイドは、生きる目的を忘れさせられやすいということも挙げられます。なぜなら、前述のように、覚醒しないように先祖や宇宙系の呪術を使って、幼少の頃から能力や性質の封印がなされていくためです。

実際には先祖や呪術ばかりがその封印方法ではなく、目に見えないとある領域から気づかないうちにさまざまな横やりが入れられていることも多いです。

それによって人生がまったくうまくいかないため、そもそも、生きている感覚がしないとか、心にぽっかり穴が開いたような感じがする、というところから始まって、何のために生きているのかわからない……となりがちです。

このような場合、彼らの攻撃をどのように退けていくべきか。おすすめすべきは先祖供養です。

先祖供養を通じて、肉体側の応援団を増やしていく。また同時に、自分の内側で自分の意識のように働いていく先祖をよりまともにしていく。すると、さまざまな場面で正しい判断ができるようになります。

さらに言えば、先祖供養を通じて先祖の格が上がっていくということは、

肉体と紐づくサポート存在が神のようになっていくということでもありますので、守りががっちり固くなっていきます。

なぜなら、前章でもお話しした通り、目に言えない存在には序列があり、肉体側に紐づく先祖系ガイドがヒエラルキーの頂点にいるからです。

このとき、先祖系ガイドがダークサイドたちすら蹴散らしていくことができるようになり、この守りは生きている限りずっと続いていくのです。

ですから、ダークサイドにやられないようになるためにも、先祖供養はぜひ続けていただくようおすすめします。

## **ヒーラーをやりたいのになかなか進まないわけ**

最後になりましたが、ここからはまとめとして補足情報をお伝えしていきます。

あなたが、もしお役目ありきのヒーラーとしてこの世に生まれたとしたなら、内的意識は「目に見えない世界の仕事がしたい」と切に願うようになるでしょう。しかしながら、心はそう思っても、なかなか現実がついてこないということも多くあります。

そのほとんどは、過去世においてヒーラーとしての役割をやらされすぎたせいでダークサイドたちから付け狙われ、ひどい体験をしたことが原因です。魂は役割があることに気づいているし、自分でもそうしたいと思っている。でも、潜在意識の奥の方で過去世の記憶がよみがえり、怖くてたまらなくなる。

すると、その役割をやれなくなるように、内的意識が工夫を凝らしながら、役目とは真逆の方向に歩いていこうとし始めるのです。そのため、サイキックが開き切らないように、自分の周波数を低めよう、低めようとする働きが起きてきます。もちろん、顕在的な自分は何が起きているのか知りません。

そのため、エネルギーを良くしたい、人生を思い通りに生きたいと思ってエネルギーワークに取り組んでも、途中で嫌になってやめてしまったりもしますし、誤った方向に行ってしまうことも多いです。

この場合、どうしたらよいのでしょうか。結局は、自分の魂が求める方向に、潜在意識の中の恐れを取り除きながら、愚直に一步一步近づいていくよりほかはないのです。

このとき、ダークサイドたちはみなさまの中にある恐怖心にも目を付け、その恐怖心がもっと大きくなるようにエネルギー攻撃を仕掛けてくることはあり得ます。

それについてもやはり正しい知識を持った上でエネルギーの法則に従い、

ネガティブな影響力をひたすら取り去っていくことです。すると、一定の周波数以上になったところで、ダークサイドたちは「今世はもう手出しができない」とあきらめるのです。

ダークサイドは無駄打ちを嫌います。横やりを入れることができるなら徹底的にやる。しかし、もう手出しができないというところまでエネルギーが上がってしまうと、無駄に攻撃するよりも、もっと攻撃しやすい他のターゲットを狙おう、となるのです。ですから、先祖供養だけでなく、自分の周波数上がるよう、エネルギーワークをひたすら繰り返していくことが大切です。

#### **【まとめ】**

**ダークサイドは外宇宙から来た害虫のような存在。**

**地球とこの内宇宙のアセンションを遅らせようとホワイトサイドに攻撃をしかけてくるため、それに対抗できるよう、先祖供養とエネルギーワークで力をつけていくことが大切。**

## あとがき

### 高次元の存在たちより心からの感謝とメッセージを

いかがだったでしょうか。目からうろこの情報があった方、あるいは、よく知っている事柄のおさらいのように感じた方もいらっしゃるかもしれません。

私にとっては、いつの間にか自分の中に降り積もっていた、目に見えない世界のさまざまな情報をまとめるよい機会となったと同時に、執筆しながら改めて整理された情報もありました。

私自身、非常に楽しんでこの『基礎編 1』の動画撮影やテキストの執筆を行うことができ、私はこの仕事が本当に大好きなのだと改めて感じた次第です。

ここからは、この動画&テキストをサポートしてくれた高次元の存在たちが、メッセージがあると伝えてきていますので、マイクを渡します。

「動画&テキストブックという形式でみなさまに情報をお伝えできたことを本当によろこばしく思っています。ここに書かれた情報はすべて真実であり、またこれまでだれにも語られなかったような内容も含まれています。

あなたは、真に変われる。なぜなら、変わるために必要な情報をここに  
込めて書いているから。

あなたがもし、ホワイトサイドのお役目を持つヒーラーとして生まれたの  
ならば、これからやらなくてはいけないことは山ほどあります。そのうちの  
一つは、自分の覚醒レベルをもっともっと引き上げていくこと。

しかしながら、そのために何がもっとも重要で、何に気をつけるべきなのか。  
みな知らな過ぎたのです。

だからこそ、あなたは、ここで新しい情報を得て真実に乗り出していく。  
そして、それに則って行動を起こしさえすれば、真の意味において変わることが  
できるのです。

ここで言う『変わることができる』とは、真のヒーラーになることもできる、  
ということも表しています。あなたがお役目を持ったホワイトサイドの  
ヒーラーとしてこの世に生を受けたのなら、激しい横やりには遭い、また  
なすべきことが多いわりに生産性の高くない人生をこれまで延々と  
送られてきたことでしょう。

しかし、それすらもうどうでもよいのです。過去のことを気にする必要はなく、  
『今』に意識を集中させていきましょう。そうしていきさえすれば、ただ道は  
開けていきますから。

本テキストは、私たちが伝えたいことのほんの一部に過ぎず、これからもっと本格的に、ヒーラーを目指されるみなさまの血や肉となるような情報をお伝えしていき、またエネルギーを送ることで意識をさらに開かせていただく所存です。

最後になりましたが、みなさまとお会いできて本当によかった。今後の活躍に期待をしています。

また来ます。本日はお呼びいただき、ありがとうございました」

みなさまに、私からも心からの感謝を申し上げます。このたびは、誠にありがとうございました。この動画&テキストブックが、みなさまがお役目を果たしていくための一助になれば幸いです。

最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。

けいこヴァールハイト

# ヒーリングマスタースクール 基礎編 1

発行日： 2023 年 2 月 9 日

発行者： けいこヴァールハイト

発行所： 有限会社スタープレス

U R L : <https://www.keikowah.com/>

Email : [happy@starpress.co.jp](mailto:happy@starpress.co.jp)